

2026年3月期 第2四半期決算説明

2025年11月7日

富士紡ホールディングス株式会社

取締役社長 井上 雅偉



富士紡ホールディングス株式会社

■ 2025年度上半期実績

売上高 225億円 (前期比+7.0%増収)
営業利益 37億円 (前期比+26.0%増益)

■ 【研磨材事業】

AI関連向け先端半導体向けの需要増加を背景に受注が堅調

【化学工業品事業】

半導体を含む電子材料の受注が堅調

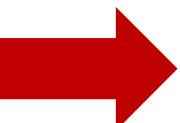
【生活衣料事業】

人件費やコスト高、円安の影響で厳しい環境が続く

■ 2025年度通期業績予想： 上方修正

(5/15公表)

売上高 462億円
営業利益 70億円



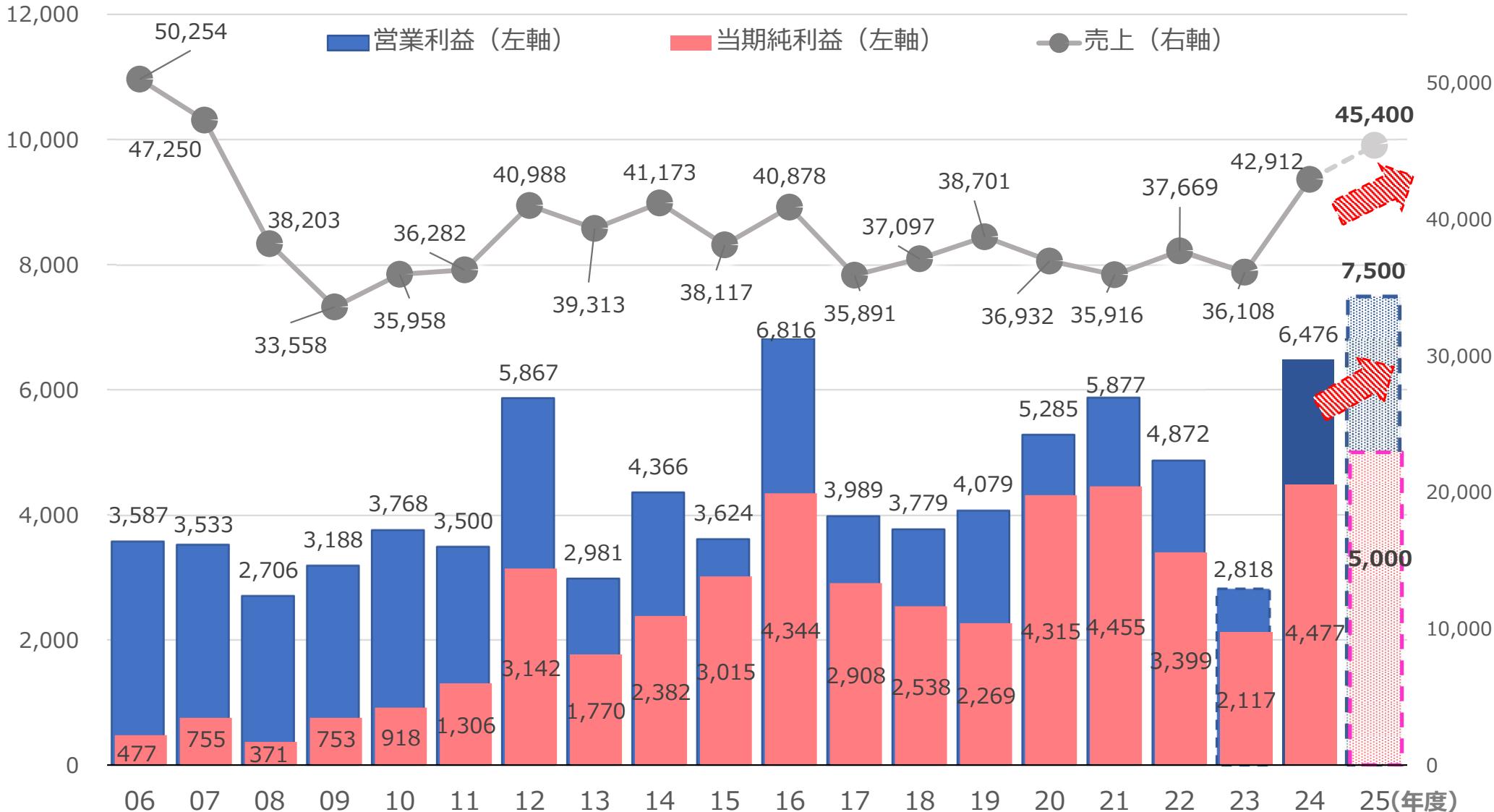
(10/31公表)

売上高 454億円
営業利益 75億円

■ 中間配当75円、期末配当85円とし、年間で160円を予定

業績推移

(百万円)



変身 06-10

突破 11-13

邁進 14-16

加速 17-20

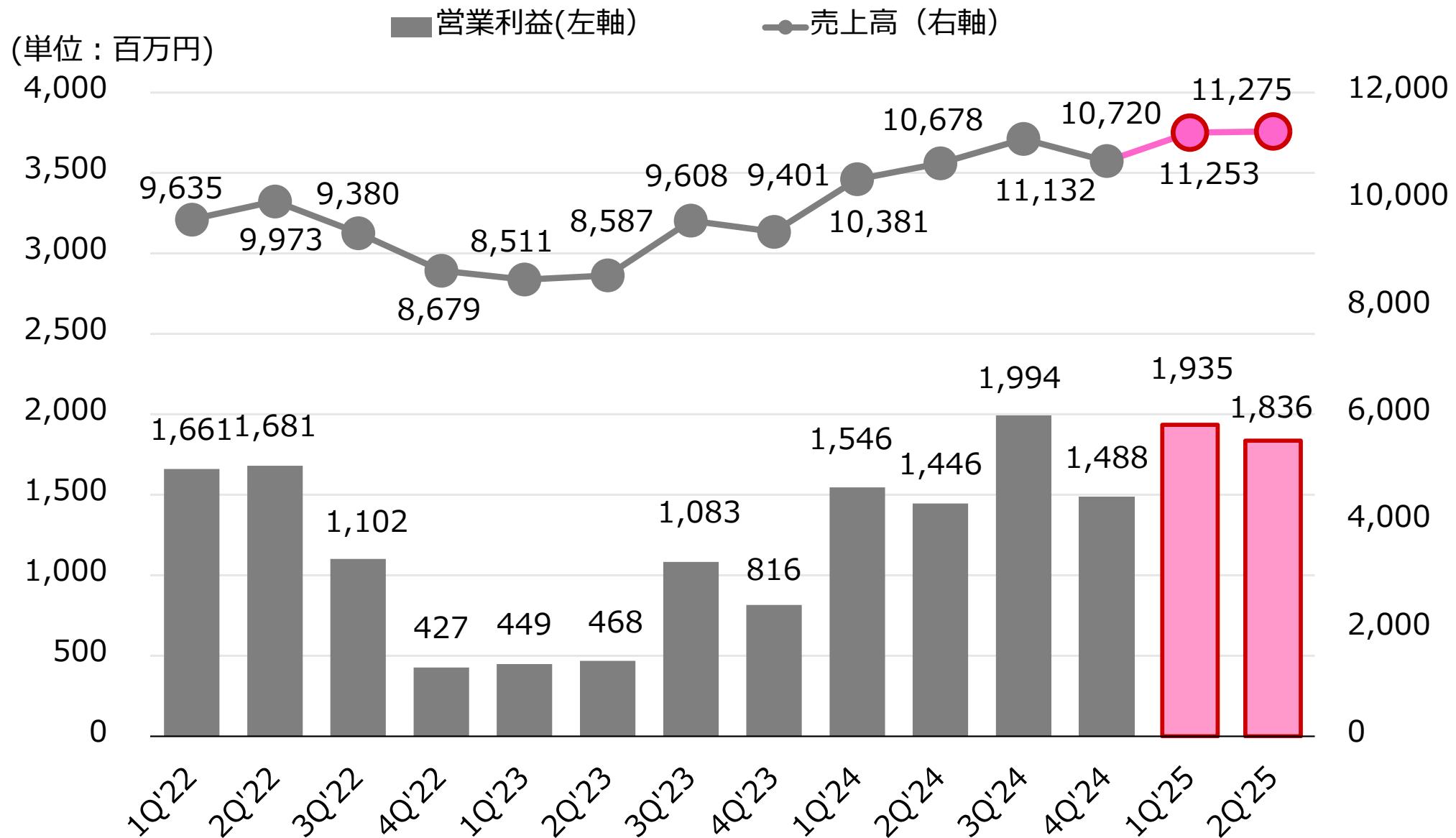
増強 21-25

FY25上期 連結決算概要



(単位：百万円)	FY24	FY25	前年 同期比
	上期 実績	上期 実績	
売上高	21,060	22,528	+7.0%
営業利益	2,992	3,771	+26.0%
経常利益	3,071	3,904	+27.1%
中間純利益	2,095	2,730	+30.3%
EBITDA	4,590	5,340	+16.3%

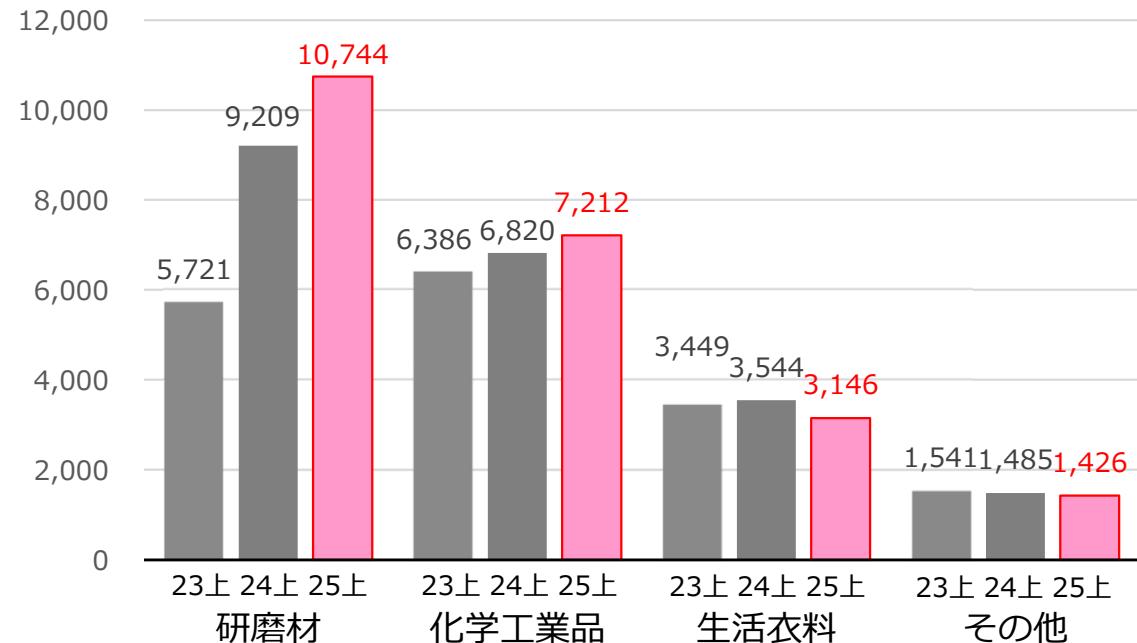
四半期業績推移



FY25上期 セグメント別業績

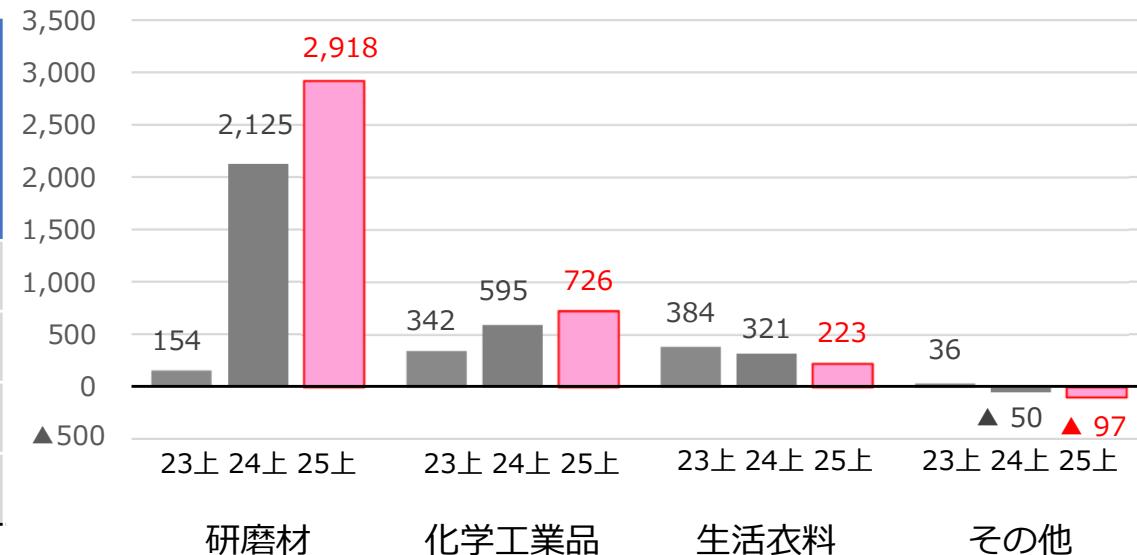
【売上高】

	FY24	FY25	前年 同期比
	上期 実績	上期 実績	
研磨材	9,209	10,744	+1,535
化学工業品	6,820	7,212	+391
生活衣料	3,544	3,146	▲398
その他	1,485	1,426	▲59
合計	21,060	22,528	+1,468



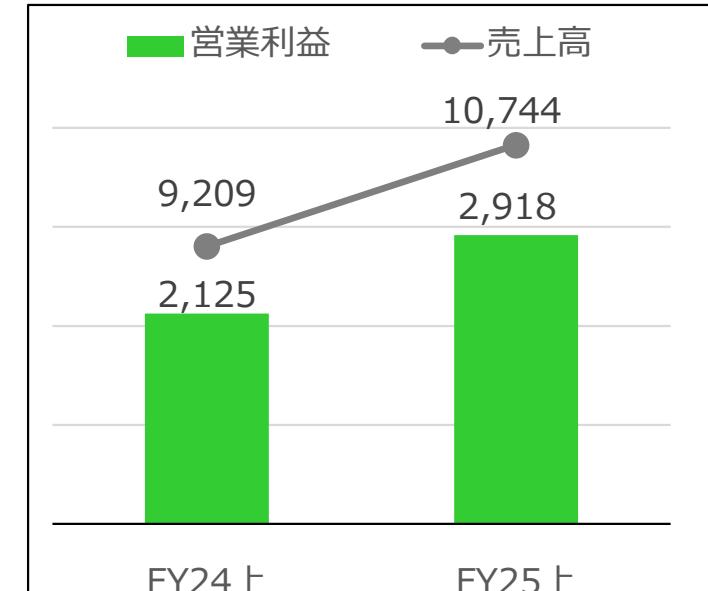
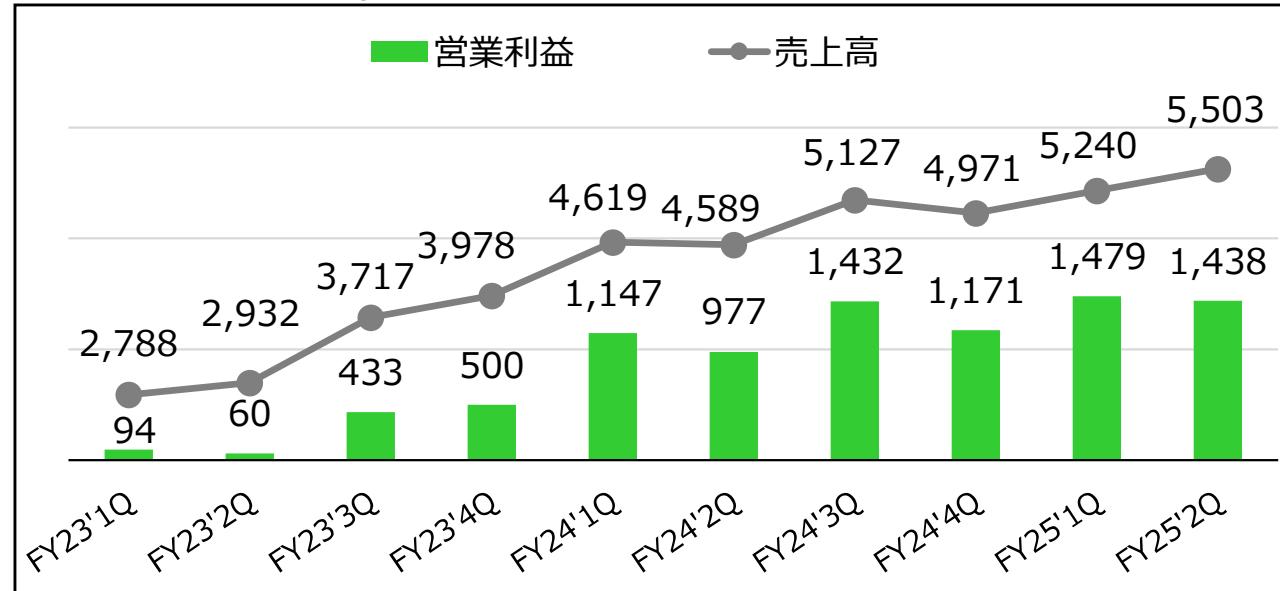
【営業利益】

	FY24	FY25	前年 同期比
	上期 実績	上期 実績	
研磨材	2,125	2,918	+792
化学工業品	595	726	+131
生活衣料	321	223	▲97
その他	▲50	▲97	▲47
合計	2,992	3,771	+778

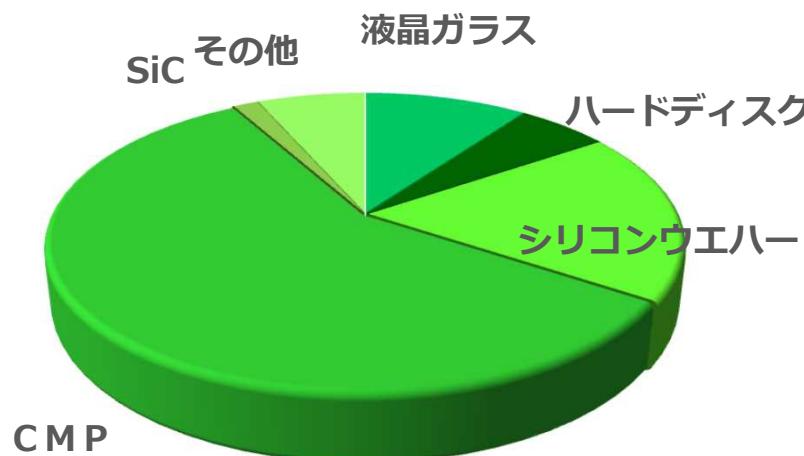


研磨材事業

(単位：百万円)



FY25上期売上構成



増収増益

✓CMP用途

- ・生成AIの普及によるHBMなどのメモリや、最先端ロジック向け半導体の需要が増加

✓シリコンウェハー用途

- ・先端品用途の需要は堅調、一定水準の売上を確保

✓液晶ガラス用途

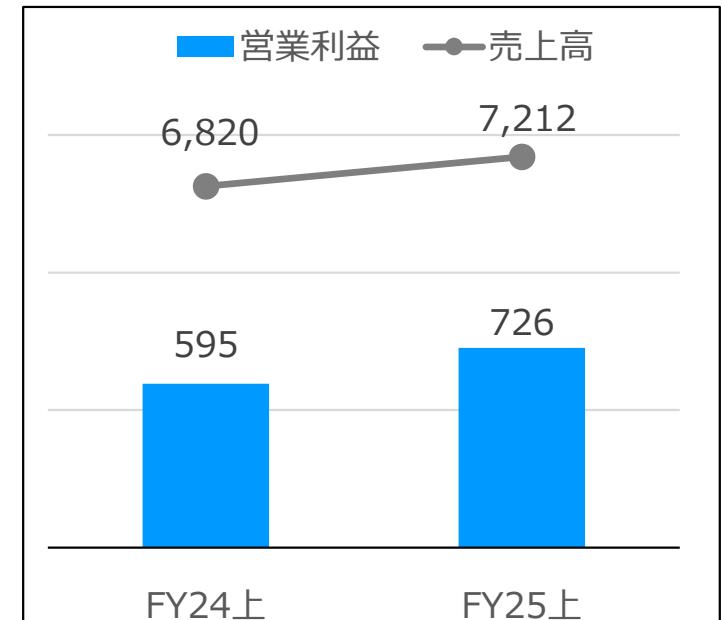
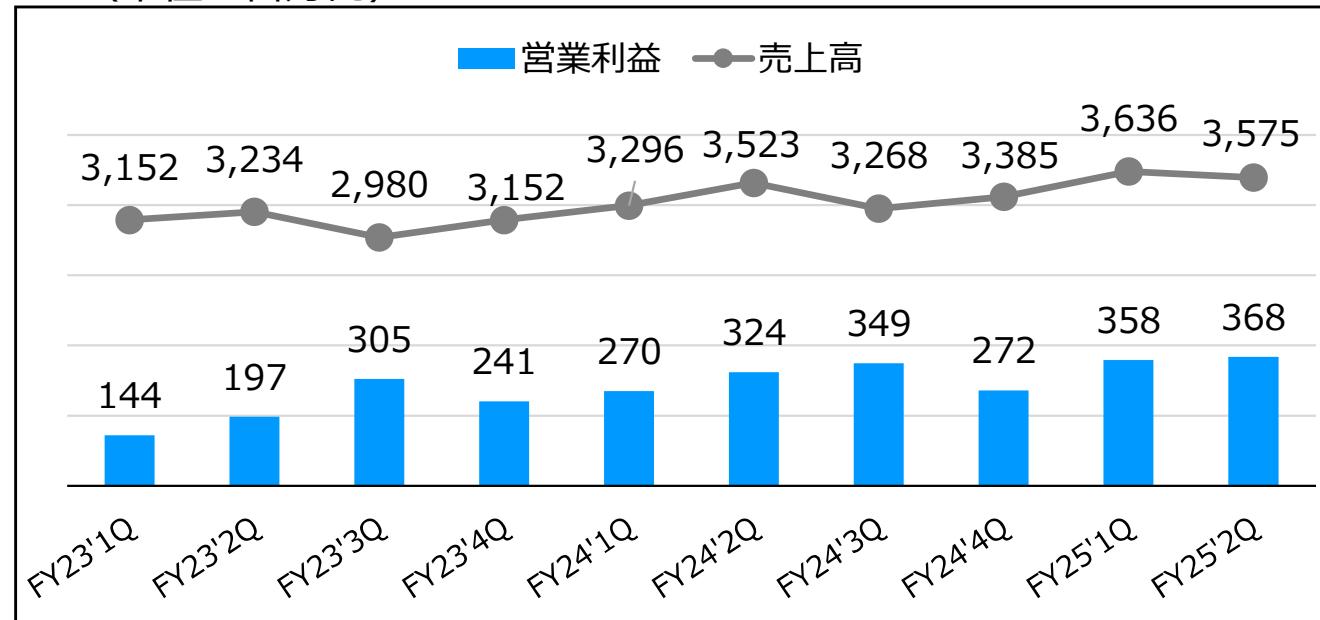
- ・中国の補助金政策によりパネル需要が好調に推移

✓ハードディスク用途

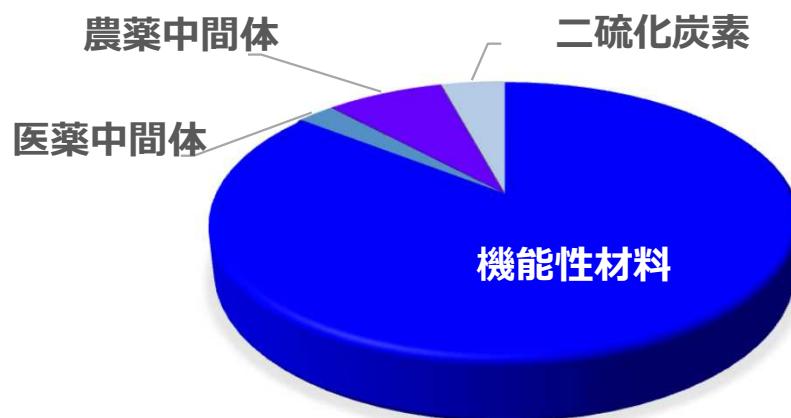
- ・データセンター向けの需要が継続

化学工業品事業

(単位：百万円)



FY25上期売上構成



增收増益

✓機能性材料・医薬中間体・農薬中間体

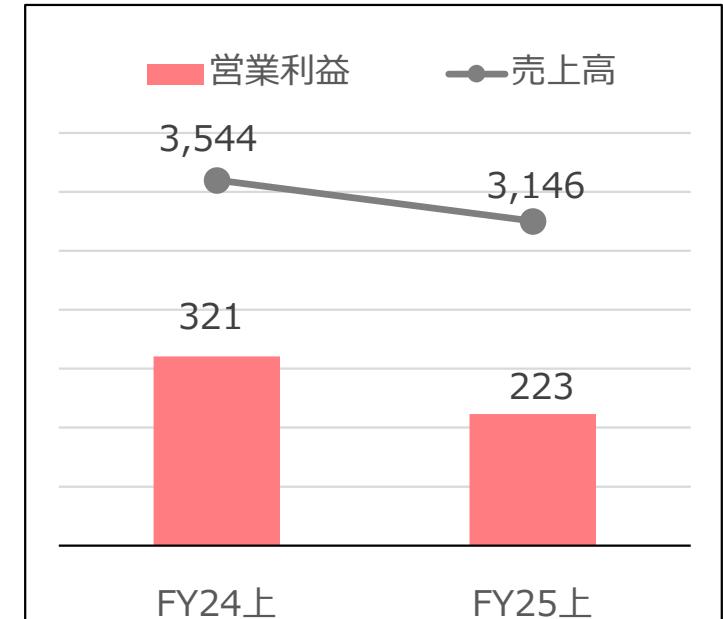
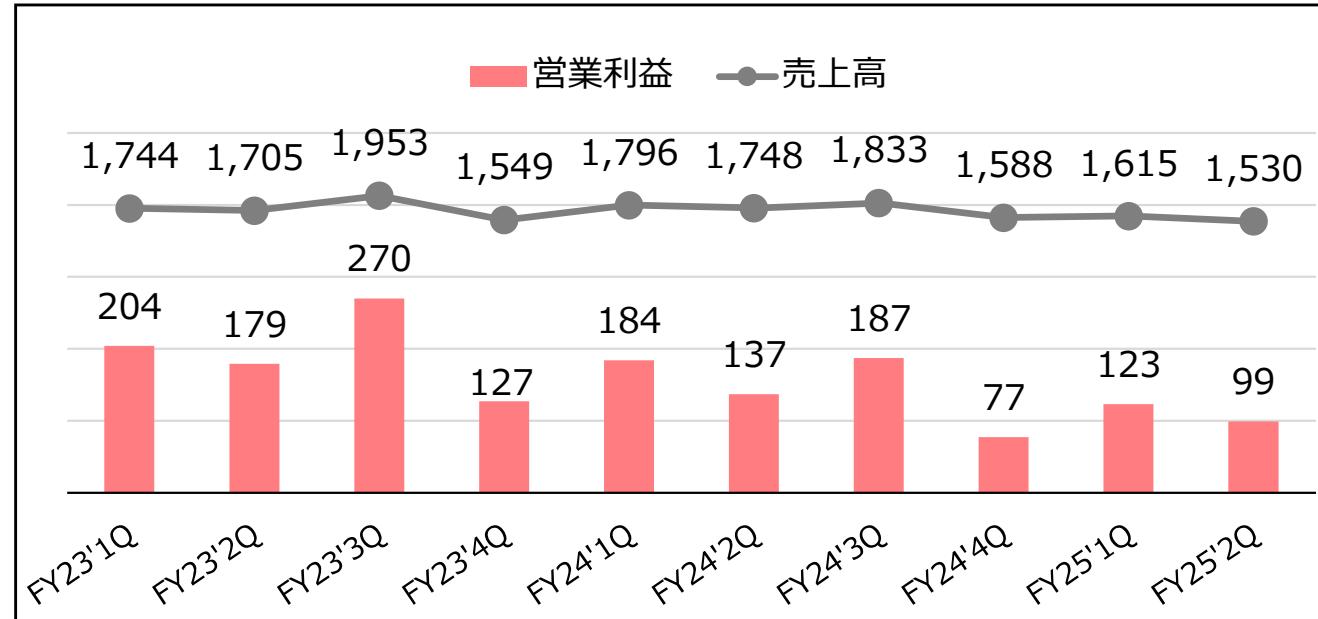
- ・半導体を含む電子材料市場が好況
- ・農薬関連は回復傾向

✓柳井工場、武生工場ともに稼働率改善

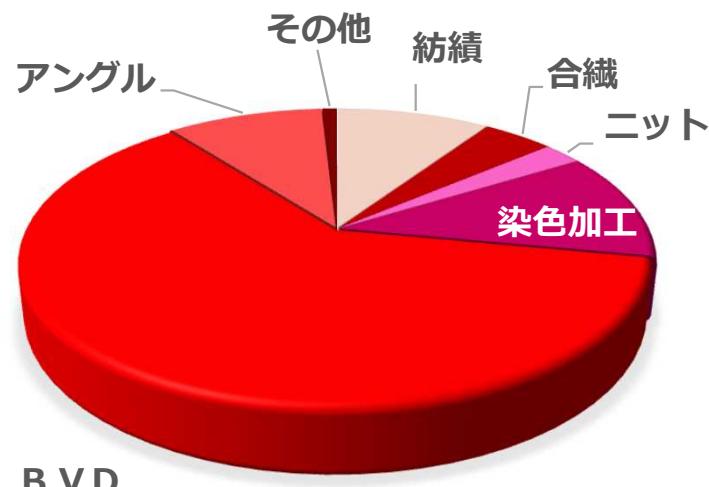
- ・両工場ともに高い水準で稼働

生活衣料事業

(単位：百万円)



FY25上期売上構成



減収減益

✓ 繊維素材

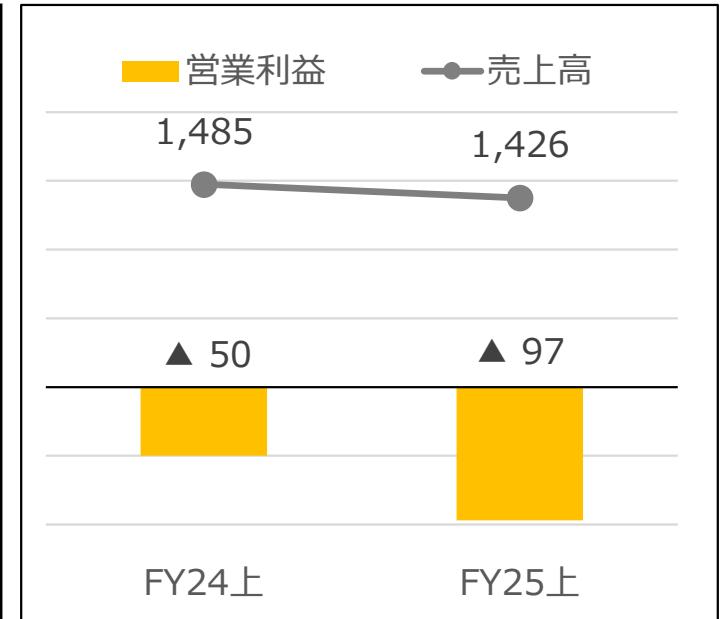
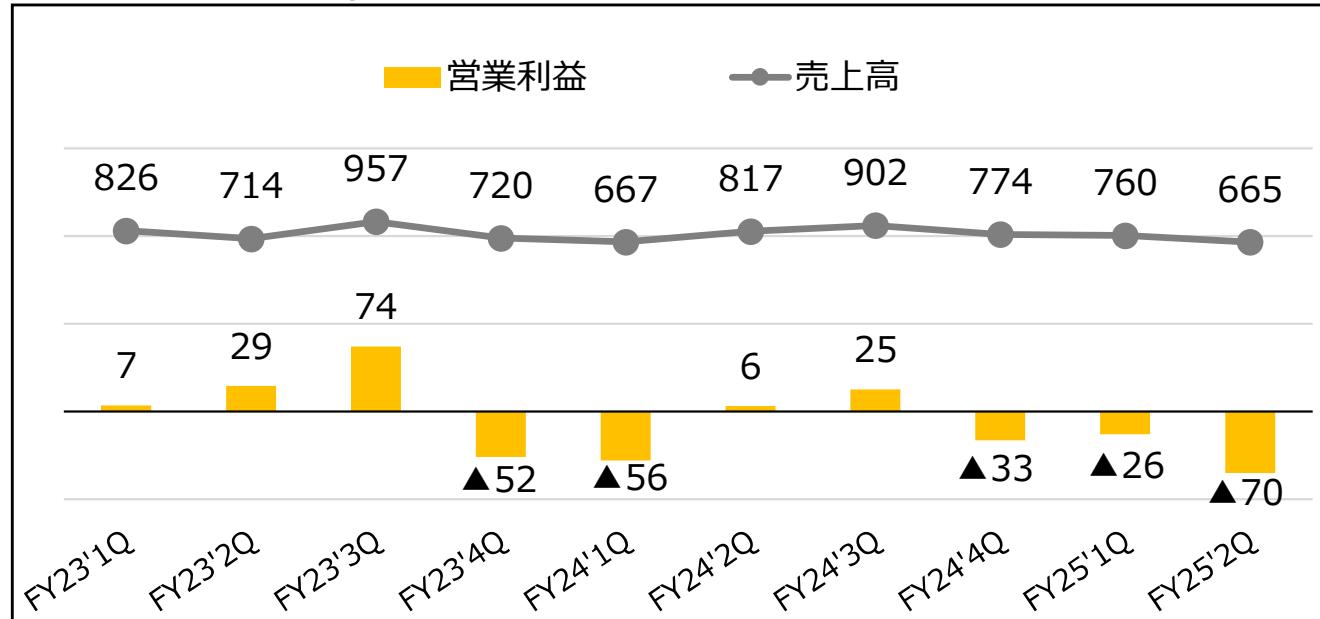
- ・人件費の増加やコストの高騰、円安の影響を受け、厳しい環境が続く

✓ 繊維製品

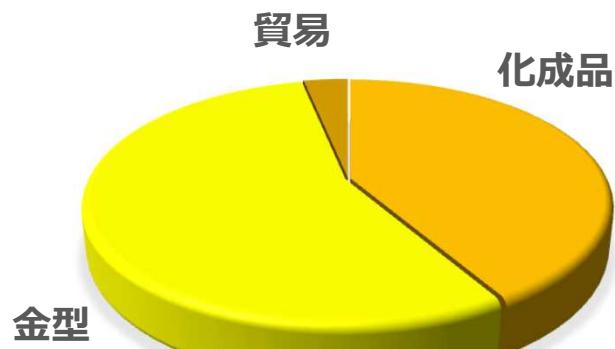
- ・量販店向け販売は、売場縮小に加え猛暑による来店客数の減少や消費者の買い控えの影響を受ける
- ・高品質な日本製品が評価され、海外向け販売は好調に推移

その他事業

(単位:百万円)



FY25上期売上構成



減収減益

✓化成品部門

- ・医療機器用およびデジタルカメラ用部品の受注が堅調

✓金型部門

- ・自動車用途は自動車メーカーの品質不正問題等により不透明な状況が続く
- ・事務機器用途は開発案件の端境期のため、低調に推移
- ・次年度に向けた案件の引き合いが増加

✓貿易部門

- ・採算性を重視した取引を継続

FY25上期 連結損益計算書

(単位：百万円)



	FY24上期	FY25上期	増減	
売上高	21,060	22,528	+1,468	+7.0%
営業利益	2,992	3,771	+778	+26.0%
営業外損益	+78	+132	+54	
経常利益	3,071	3,904	+832	+27.1%
特別損益	▲20	▲78	▲57	
税前中間純利益	3,050	3,825	+775	+25.4%
法人税等	954	1,095	+140	
中間純利益	2,095	2,730	+634	+30.3%

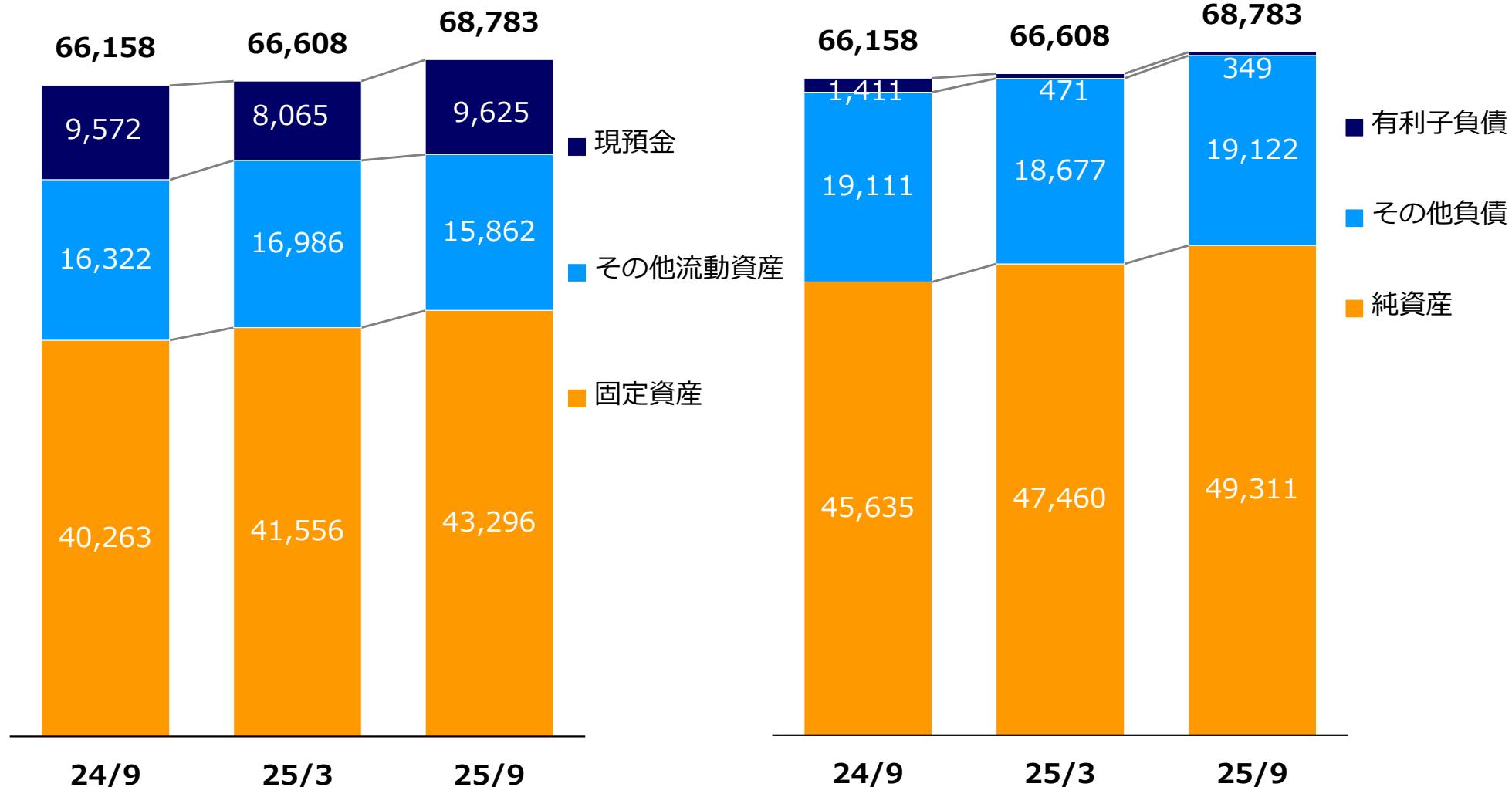
連結貸借対照表

(単位：百万円)



資産

負債・純資産



自己資本比率 (%)

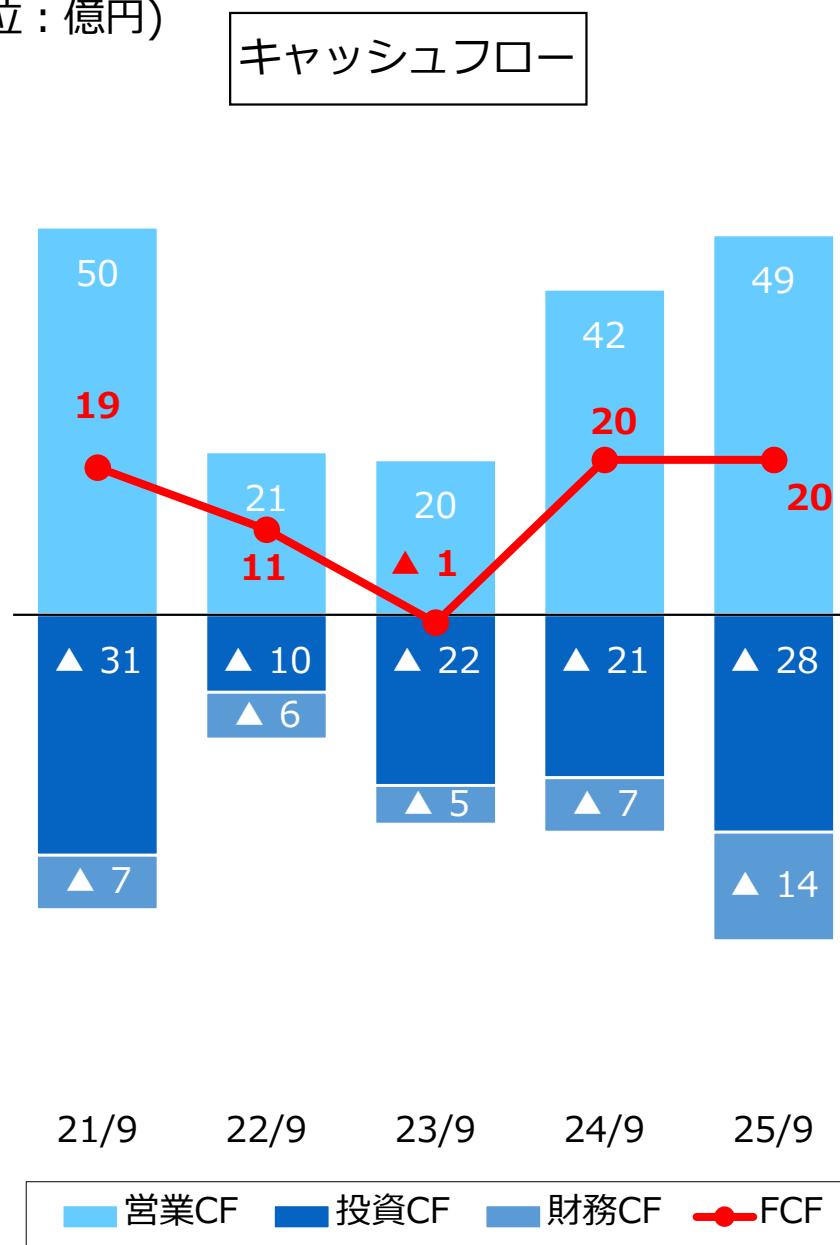
69.0%

71.3%

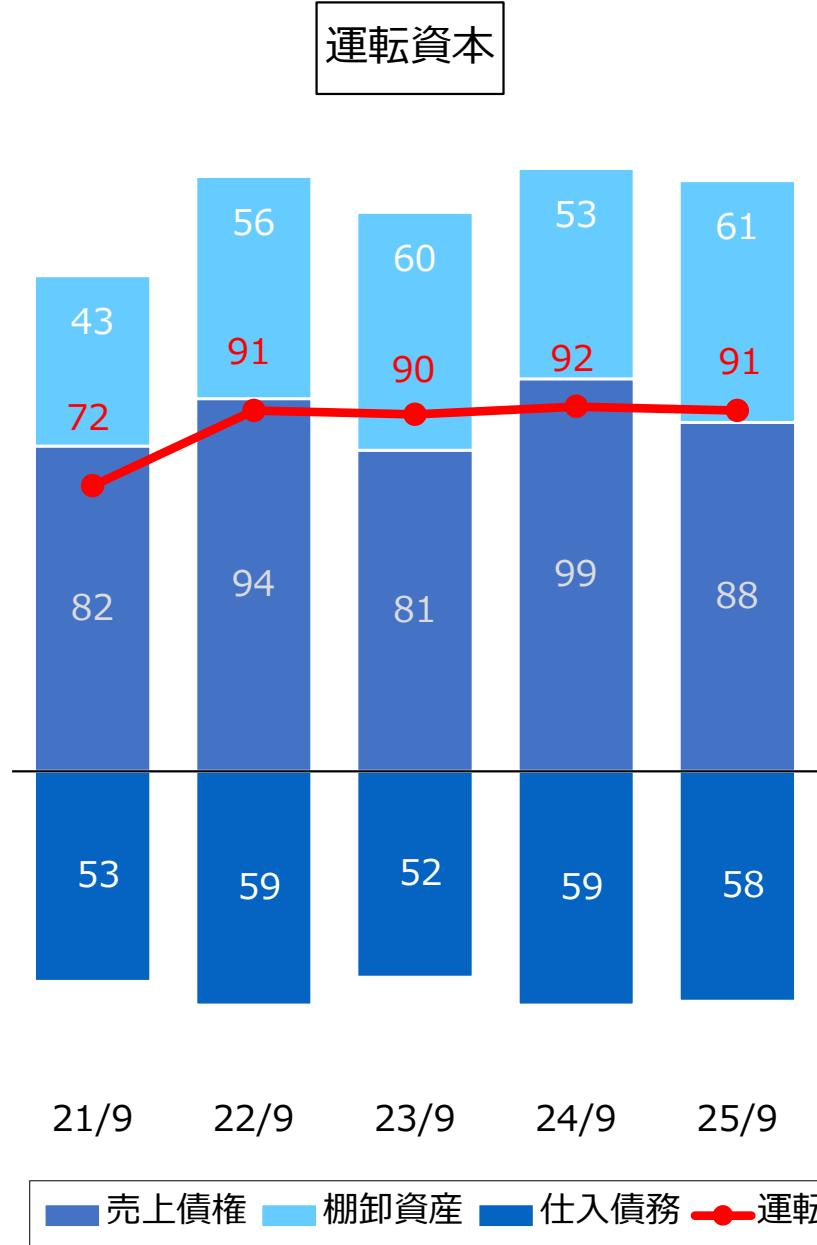
71.7%

キャッシュフロー・運転資本

(単位：億円)



運転資本

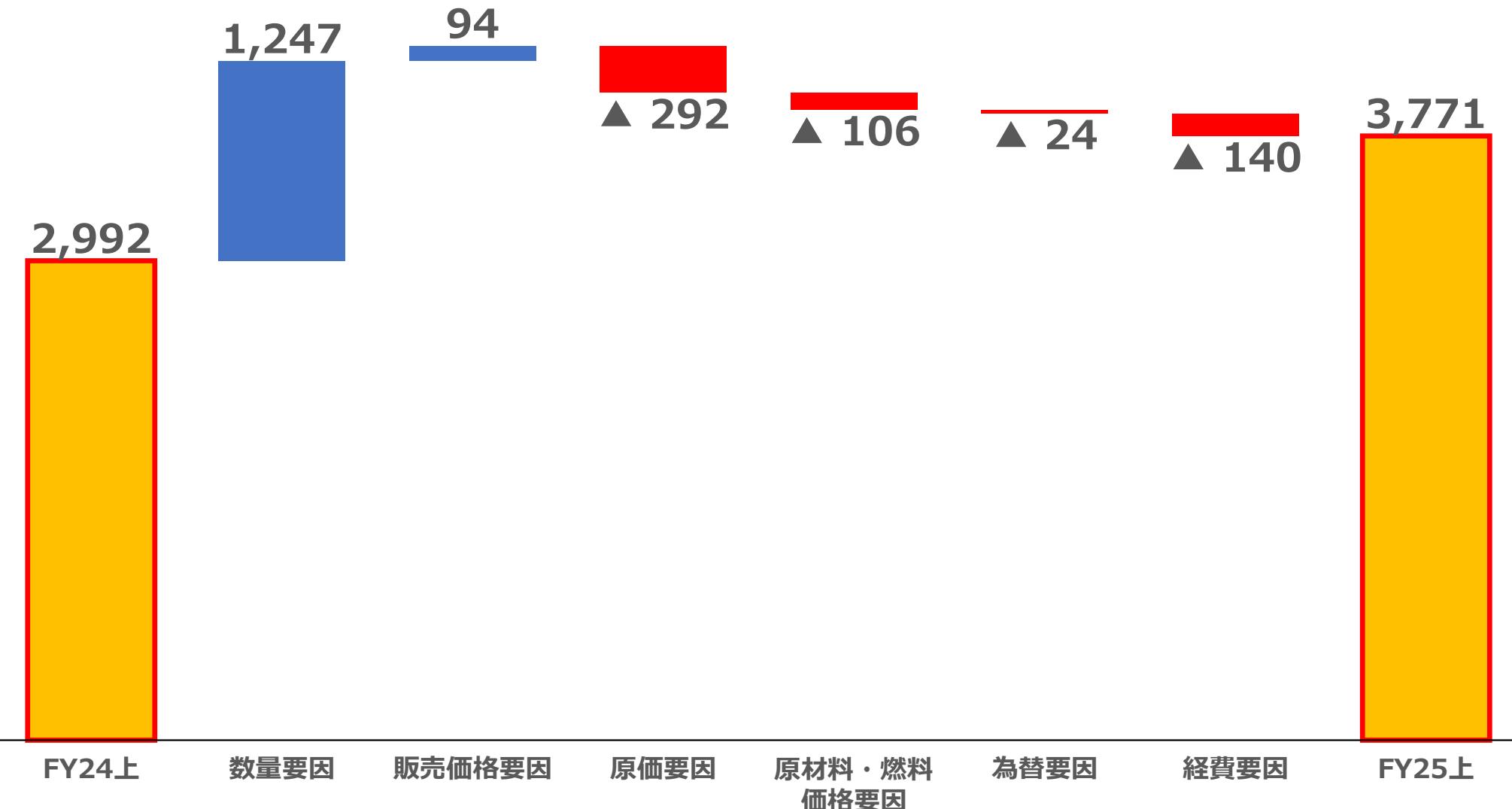


営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



+778



2025年度予想のポイント



■ 業績予想：増収増益

【2024年度】

売上高 429億円
営業利益 64億円

【2025年度】※5/15時点

売上高 462億円
営業利益 70億円

【2025年度】※10/31時点

売上高 454億円 (前期比 +5.8%)
営業利益 75億円 (前期比 +15.8%)

【研磨材事業】

- ・AI関連投資拡大の傾向が継続、業績は堅調に推移
- ・開発・製造・品質保証・知的財産関連において、各部門の連携を強化し、顧客対応力の向上を目指す

【化学工業品事業】

- ・半導体を含む電子材料市場の拡大が継続、機能性材料を中心に堅調な需要が見込まれる
- ・2026年4月稼働予定の柳井工場内新プラント建設により、収益基盤の拡大

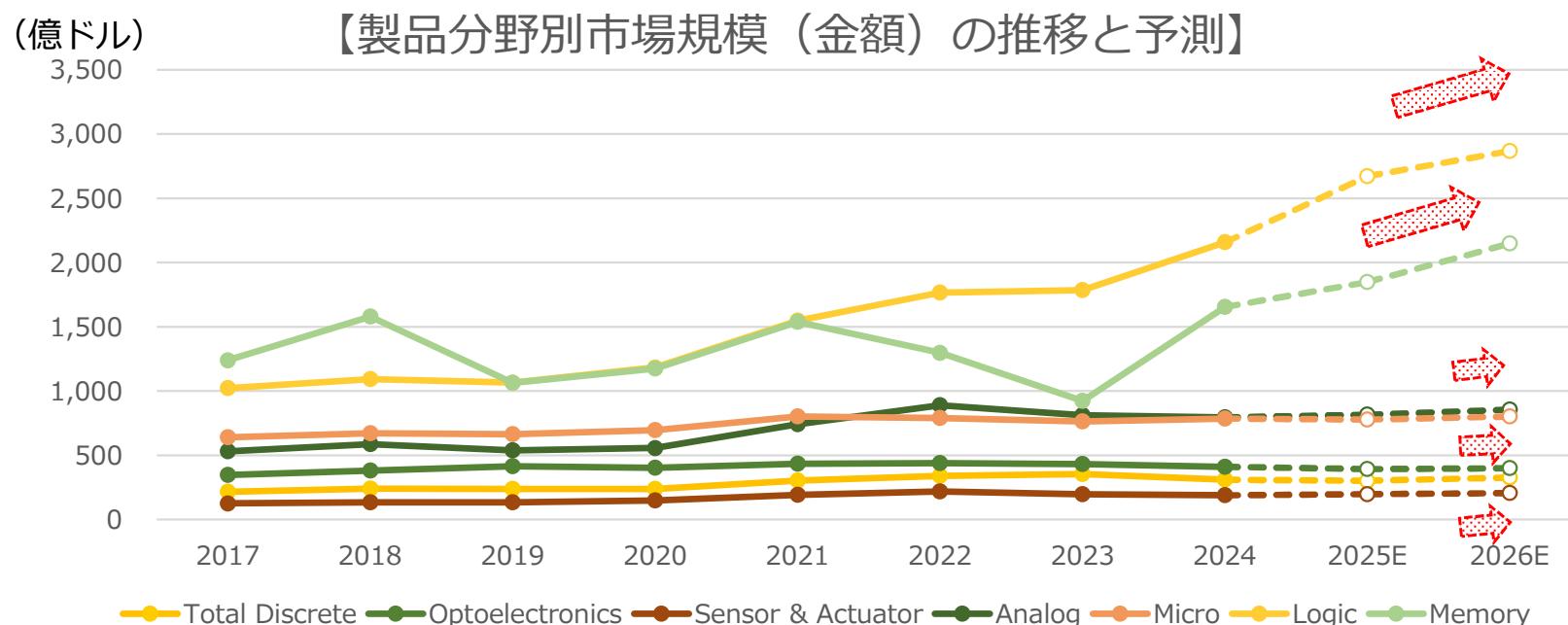
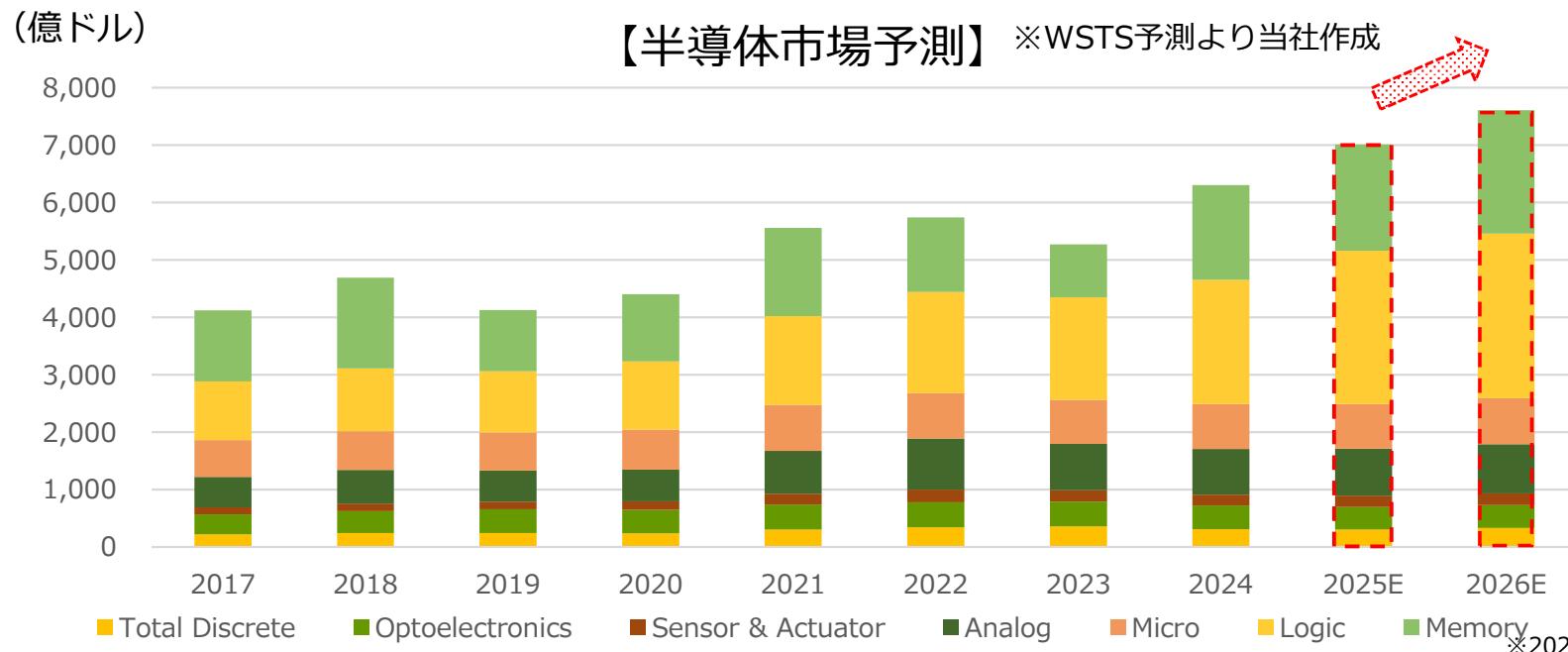
【生活衣料事業】

- ・海外向け製品は提案幅を広げ、受注拡大に注力
- ・ネット販売では、ネット限定製品の構成比を高め、利益を確保

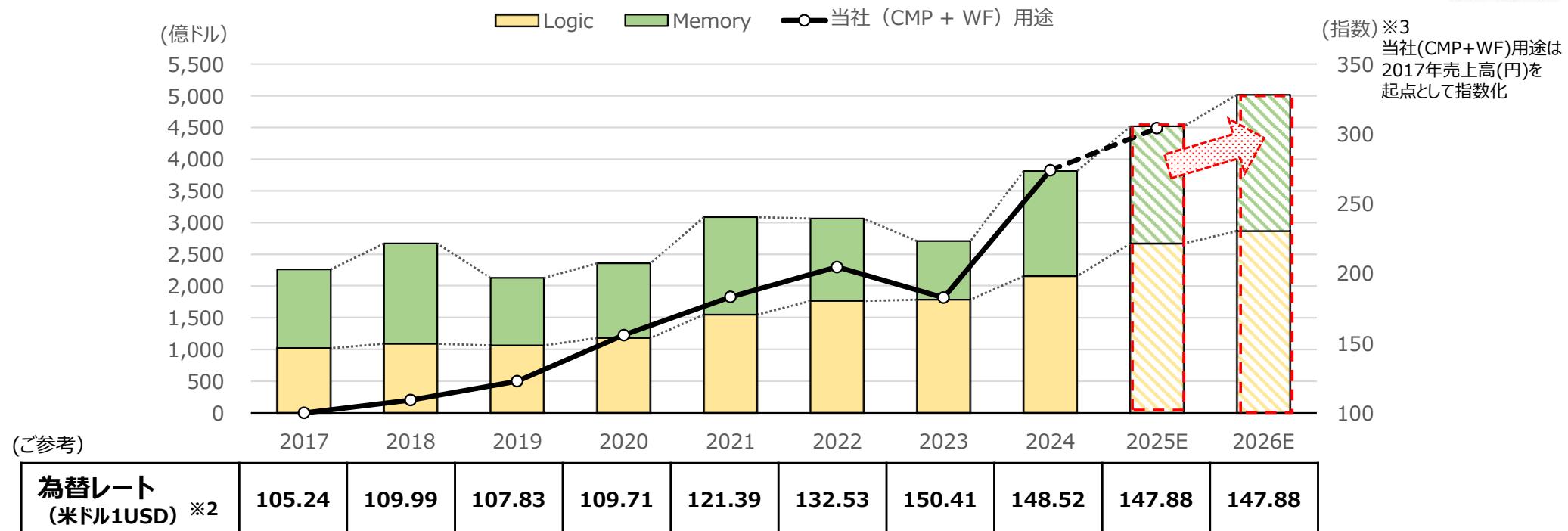
【その他事業】

- ・医療機器用部品の需要拡大に対応し、生産体制の整備
- ・金型は厳しい状況の中、来期以降の受注獲得を目指す

世界半導体市場動向（WSTS予測）用途別



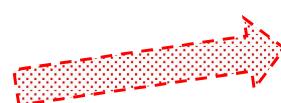
ロジック・メモリ半導体市場動向と売上予測(研磨材事業)



※1 半導体市場動向はWSTS予測

※2 各年度の期末（3月末）のTTB、2025E、2026Eは2025年9月末TTBを使用

CMP



23 上 23 下 24 上 24 下 25 上 25 下E 26 上E 26 下E

WF

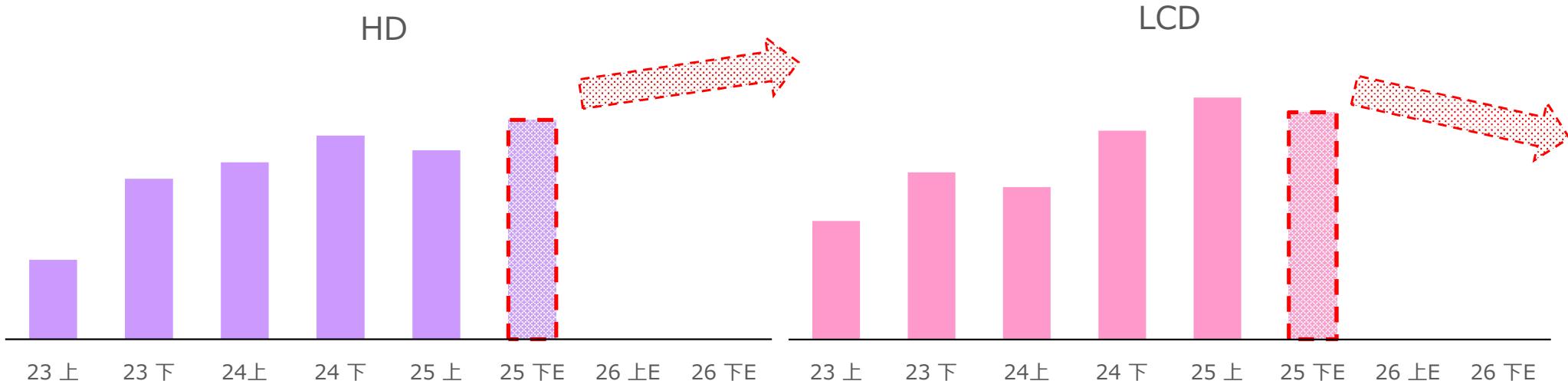


23 上 23 下 24 上 24 下 25 上 25 下E 26 上E 26 下E

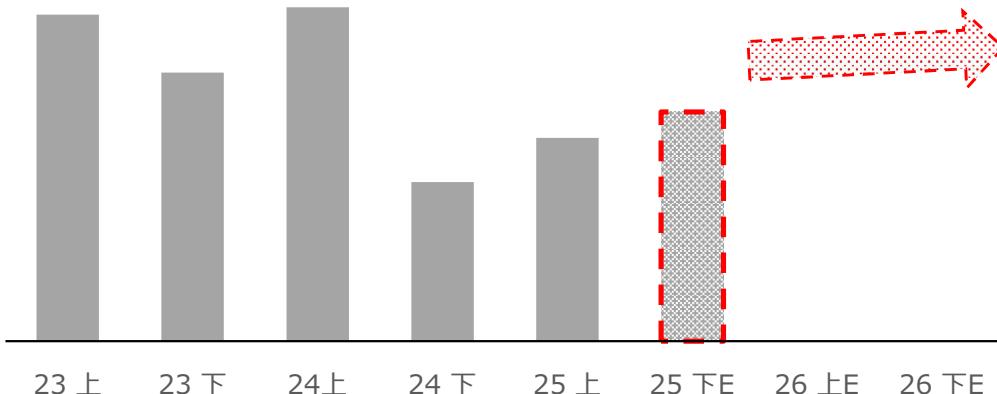
売上予測（研磨材事業）



【研磨材事業用途別売上の見通し】



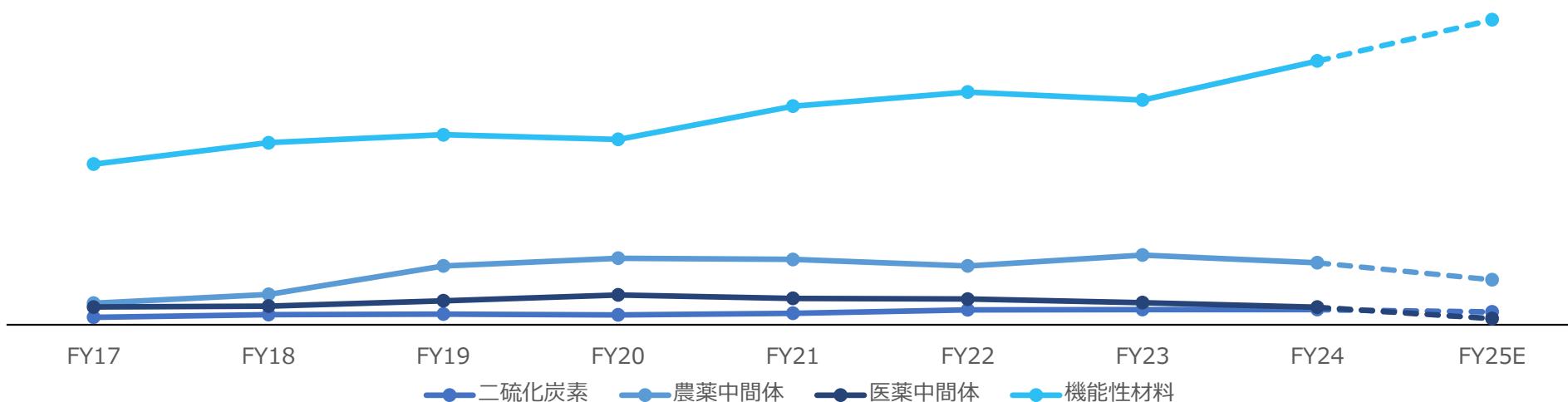
SiC



売上予測（化学工業品事業）

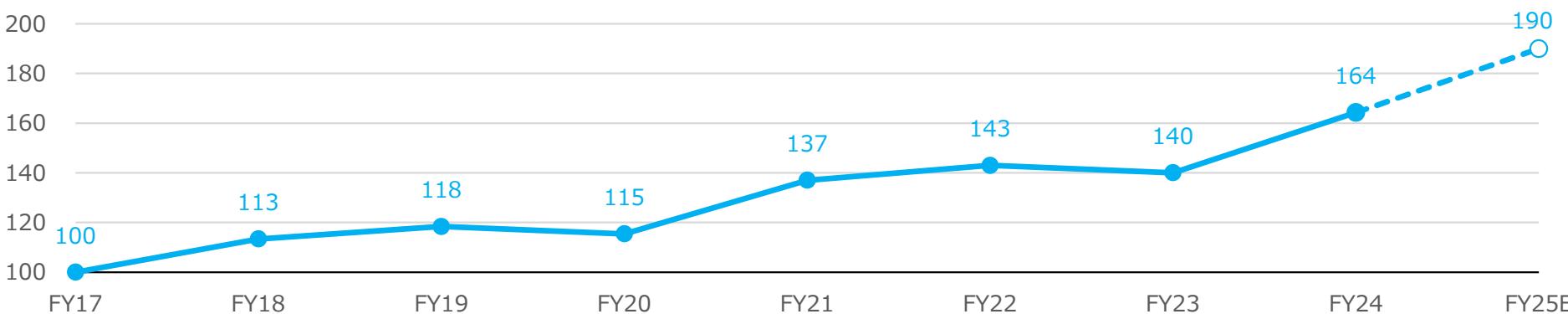


【化学工業品事業売上高推移】



【機能性材料売上高指数推移】

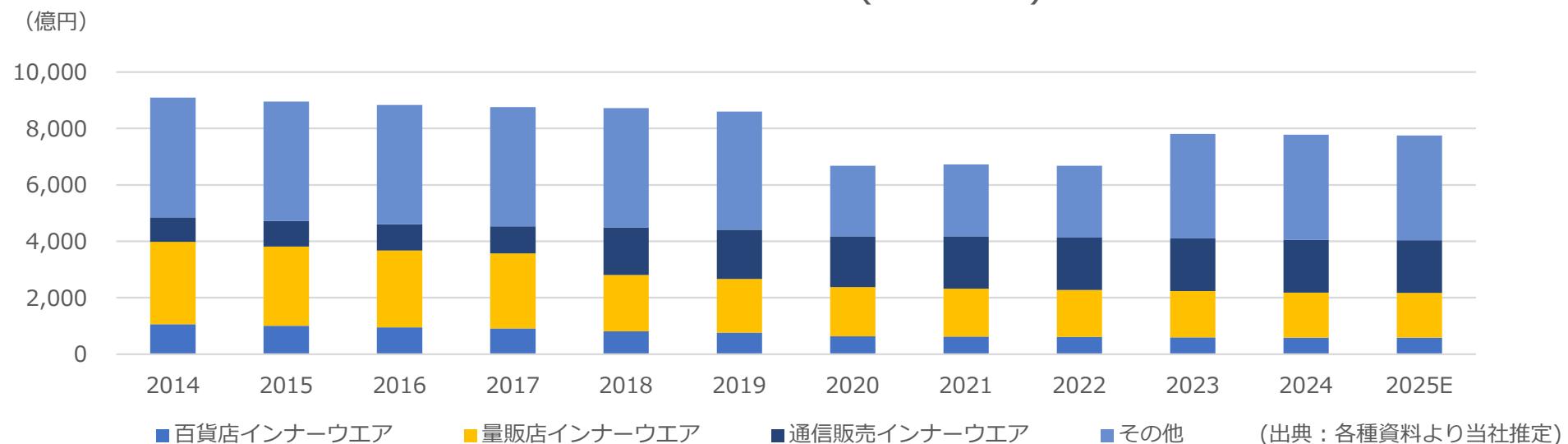
※FY17=100とする



売上予測（生活衣料事業）

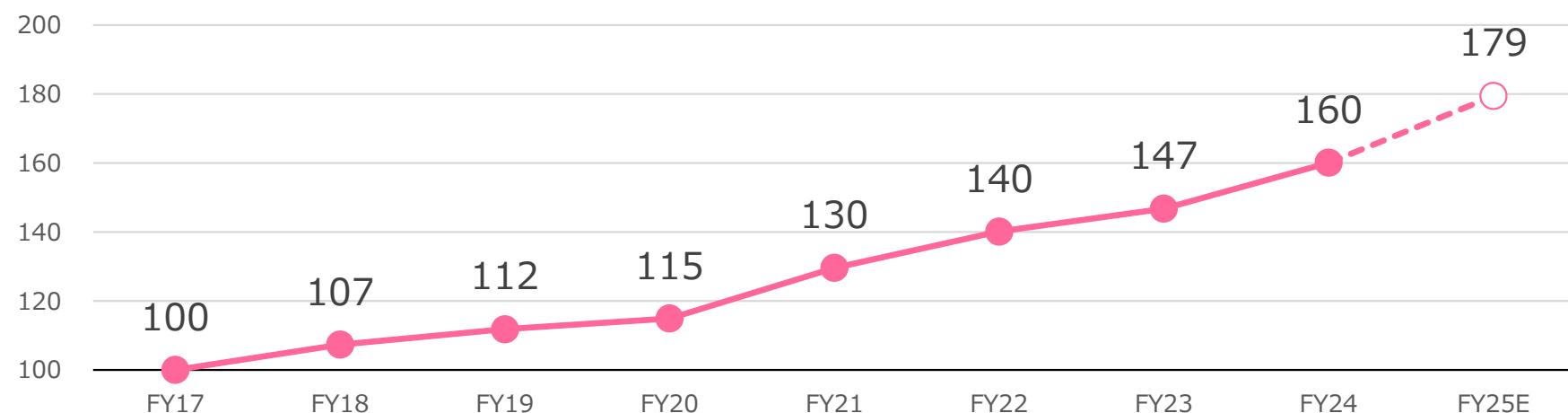


【チャネル別市場動向(売上規模)】



【BVD・アングル事業におけるインナーウエアのEC売上高推移】

※FY17=100とする

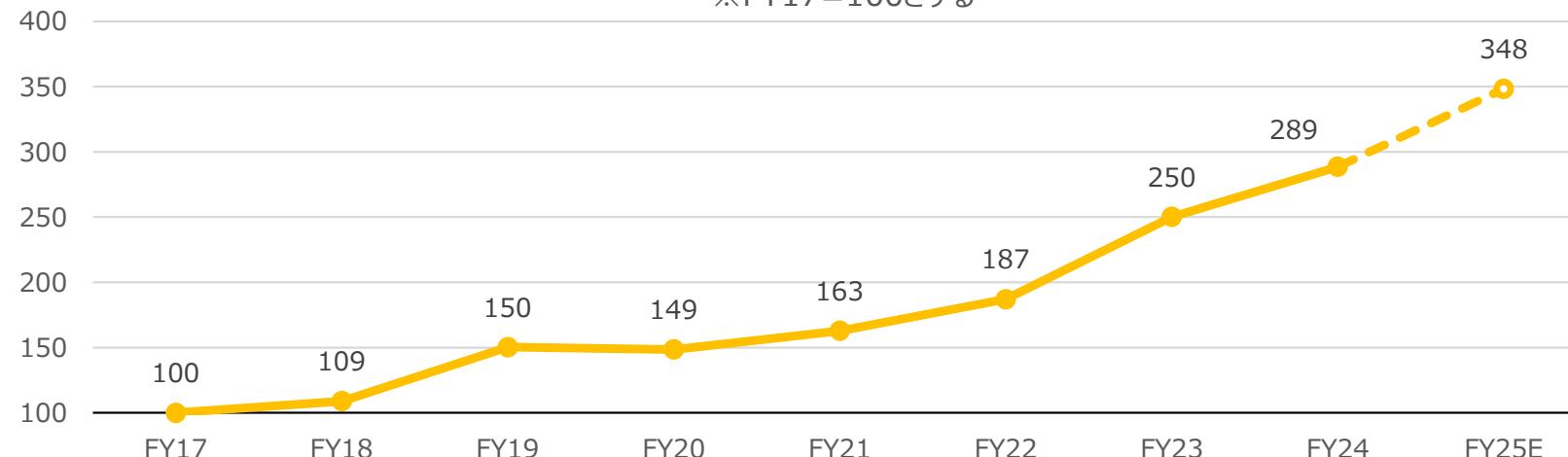


売上予測（その他事業）



【医療機器用化成品の売上指数推移】

※FY17=100とする

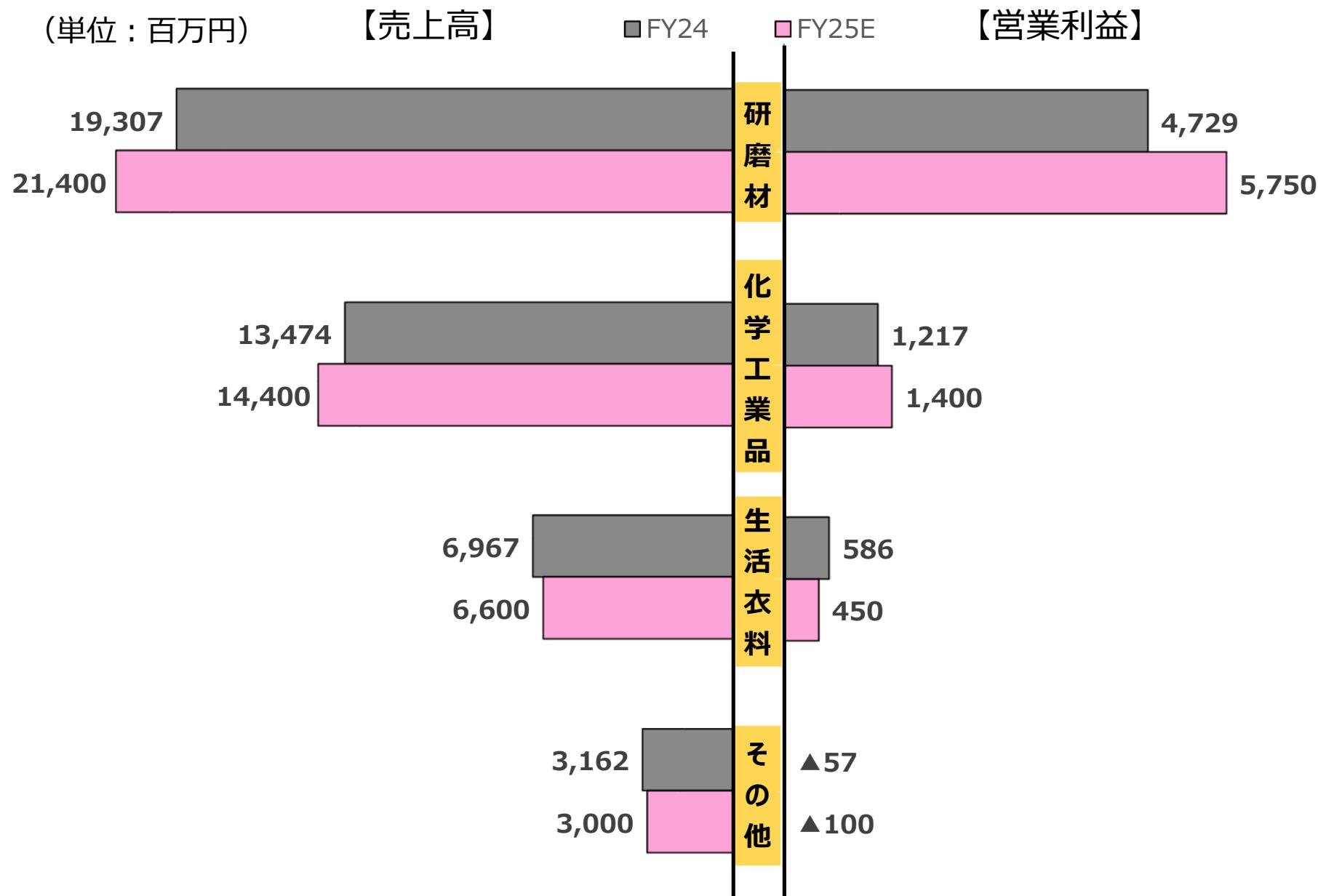


早期黒字化

安定成長

化成品	現状	対策	今後見通し
化成品	・医療機器・デジタルカメラ用途向け堅調に推移 ・今後医療機器用途向け需要拡大		大分工場へ生産拠点を集約、更なる拡張
金型	・自動車業界回復基調もEVシフトなど変革期 ・事務機器用途も開発案件の端境期 ・車載コネクターやスマホ向けホットランナーの引き合いも低調		・自動車用途の確実な受注確保と新規開拓を進め、利益を確保 ・新規顧客獲得と既存顧客の掘り起こしを継続的に行い、受注の平準化と売上確保 ・徹底した原価管理と生産工数の管理体制強化
その他	その他事業における研究開発費増加		中長期的な視野での次世代事業の開発推進

FY25 セグメント別業績予想



FY25 連結業績予想概要



(単位：百万円)

	FY24 実績	FY25業績予想		年度	
		上期実績	年間	増減額	増減率
売上高	42,912	22,528	45,400	+2,487	+5.8%
営業利益	6,476	3,771	7,500	+1,023	+15.8%
経常利益	6,675	3,904	7,700	+1,024	+15.4%
当期純利益	4,477	2,730	5,000	+522	+11.7%
EBITDA	9,841	5,340	10,780	+939	+9.5%
1株あたりの 当期純利益	405.82円	241.74円	443.42円	+37.60円	
1株あたりの 配当金	130円	75円	160円	+30円	

セグメント別設備投資・減価償却費



【設備投資】

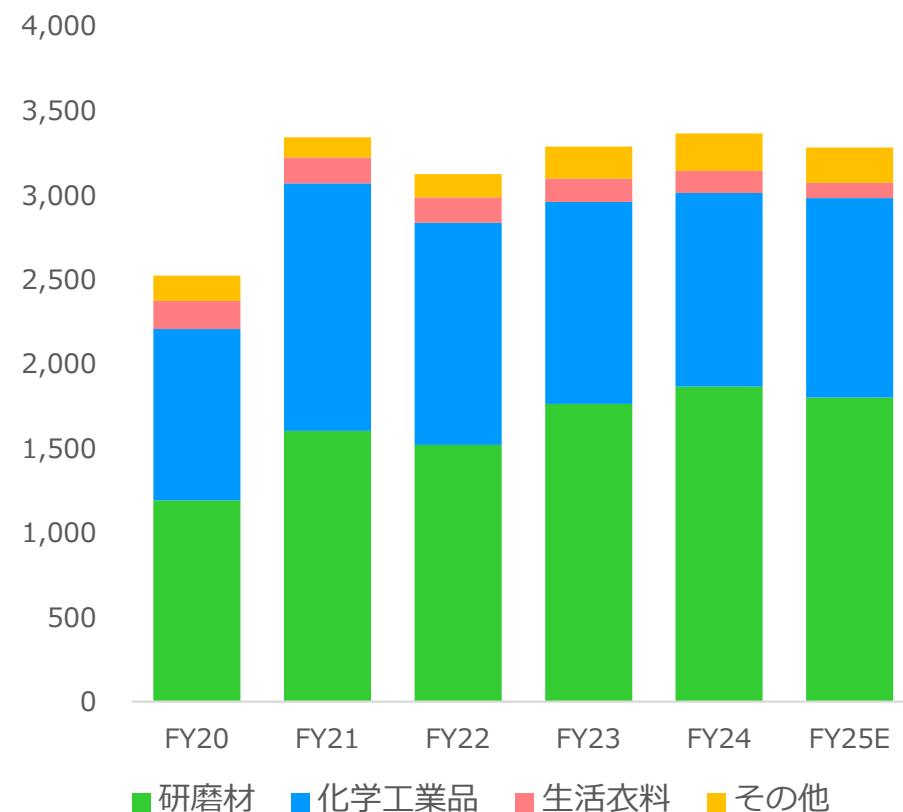
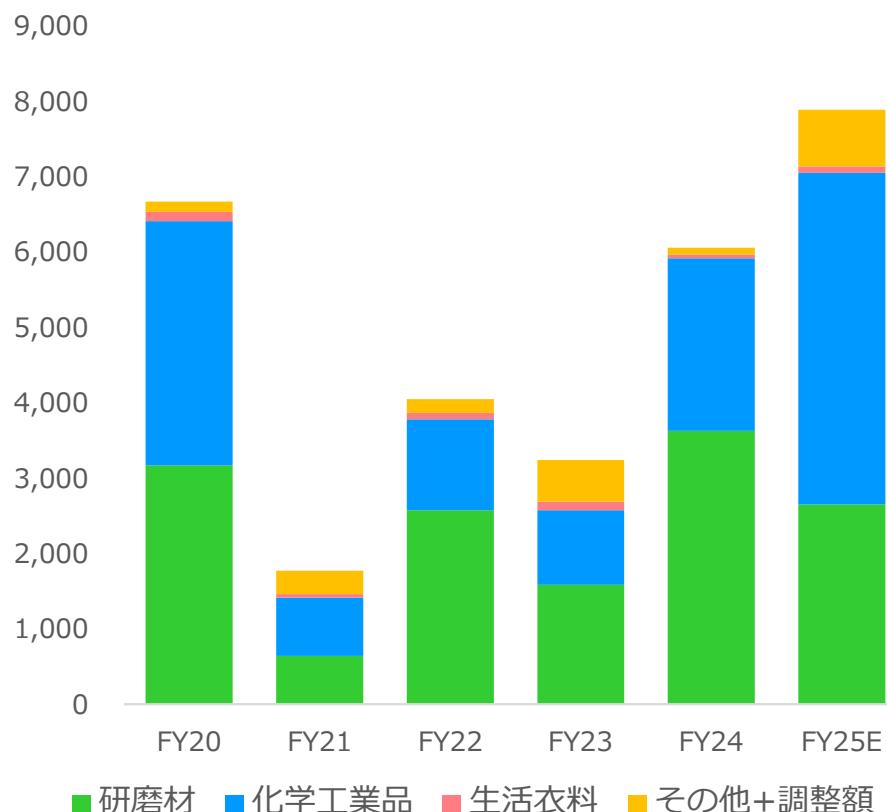
(単位：百万円)

	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25E
研磨材	3,167	638	2,574	1,583	3,628	2,648
化学工業品	3,242	775	1,205	989	2,287	4,403
生活衣料	122	48	87	114	51	83
その他+調整額	137	307	180	553	178	756
合計	6,670	1,769	4,047	3,239	6,145	7,893

【減価償却費】

(単位：百万円)

	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25E
研磨材	1,193	1,603	1,521	1,762	1,866	1,800
化学工業品	1,013	1,465	1,315	1,197	1,145	1,182
生活衣料	166	154	149	137	132	90
その他	151	120	139	190	220	208
合計	2,525	3,344	3,125	3,288	3,364	3,280



増強21－25の振り返り

【数値目標】

(億円)	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 予想	25年度 中計目標
売上高	359	376	361	429	454	600
営業利益	58	48	28	64	75	100



22年度下期からシリコンサイクルの下方調整の影響で業績が低下し、
24年度からは緩やかに回復しているものの、
25年度の中計目標値の達成は難しいとの予想。

【人財戦略】

●人財育成

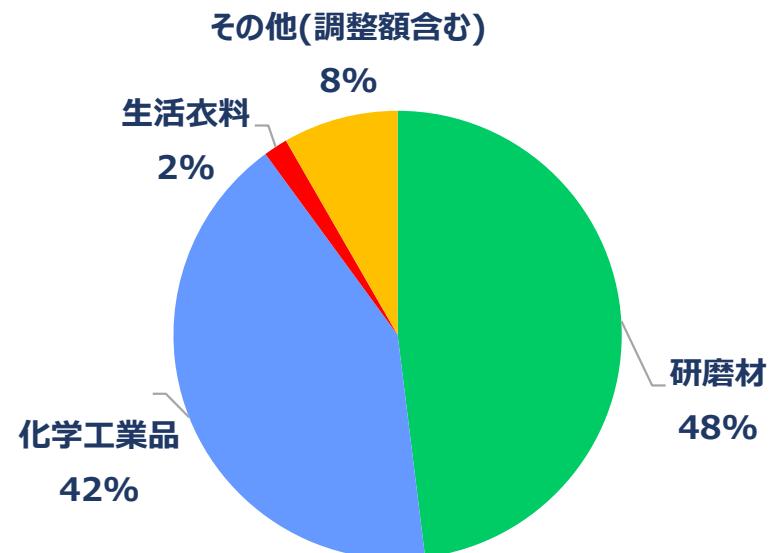
各種教育研修を充実させ、従業員が「自分の成長を実感できる」取り組みを進める

●人事制度改革

- ・賃金全体の引き上げや福利厚生を充実させる。
- ・年功序列型から抜擢型人事にシフト。
- ・健康経営を推進し、女性や外国人の活躍を促進。
- ・従業員エンゲージメントを向上させる。

【成長投資実施状況】

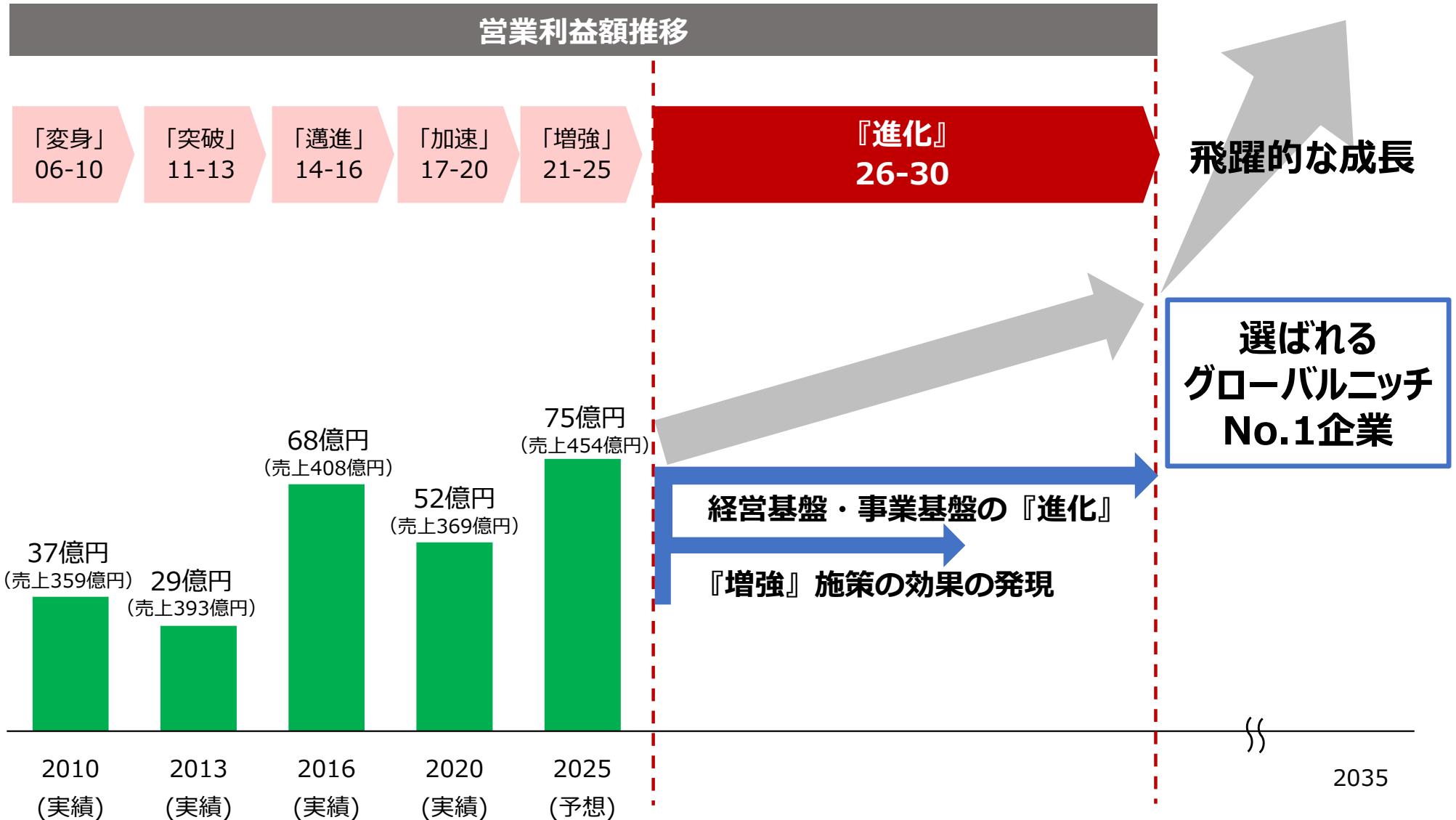
(億円)	21-25年度累計	
	中計目標	実績見込
設備投資	150	230
M&Aなど	100-150	14
合計	250-300	244



次期中期経営計画に向けて（2026/1月末公表予定）



選ばれるグローバルニッチNo.1企業へ更なる『進化』を遂げて、2035年への飛躍的な成長に向けた基盤を作る



具体的な施策と活動

PBR向上

=

ROE・
ROIC
の改善

×

PER
の向上

①中長期的な企業価値向上に向けた成長投資を推進

研磨材・化学工業品における能力増強・研究開発投資の実行と投資効果の実現に向けた取り組み推進。社員の処遇水準引き上げや人財への投資強化も推進。

②「富士紡のROIC経営」の実践

事業ポートフォリオ改革として、化成品事業の生産拠点集約や纖維素材事業を一部休止、経営資源を集中。
債権回収期間・在庫水準の適正化推進し、バランスシートコントロールの強化。

③情報開示の充実

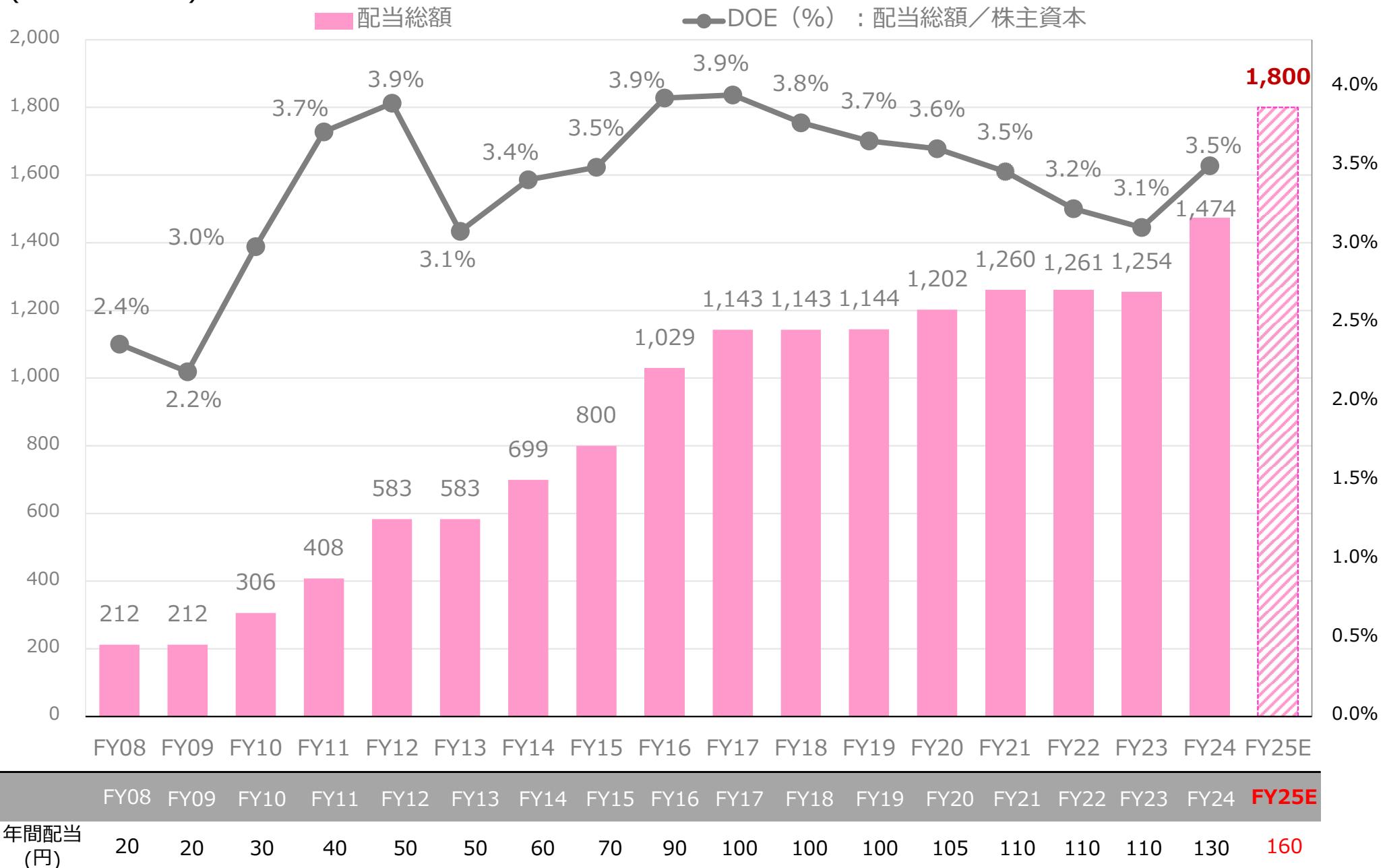
株主資本コスト率の低減と期待成長率の向上に向けて、情報開示の充実を実施。
(決算説明会WEB開催・英文開示強化・統合報告書発行・大型設備投資)

④株主還元を重視

配当に関する定量的な目標水準
配当性向35%、DOE=3.5%を下限とすることで、
資本コストを意識した運営に。

株主還元

(単位：百万円)





- ◆ 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ◆ 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知ください。

參考資料

研磨材事業研究開発費・売上高比率

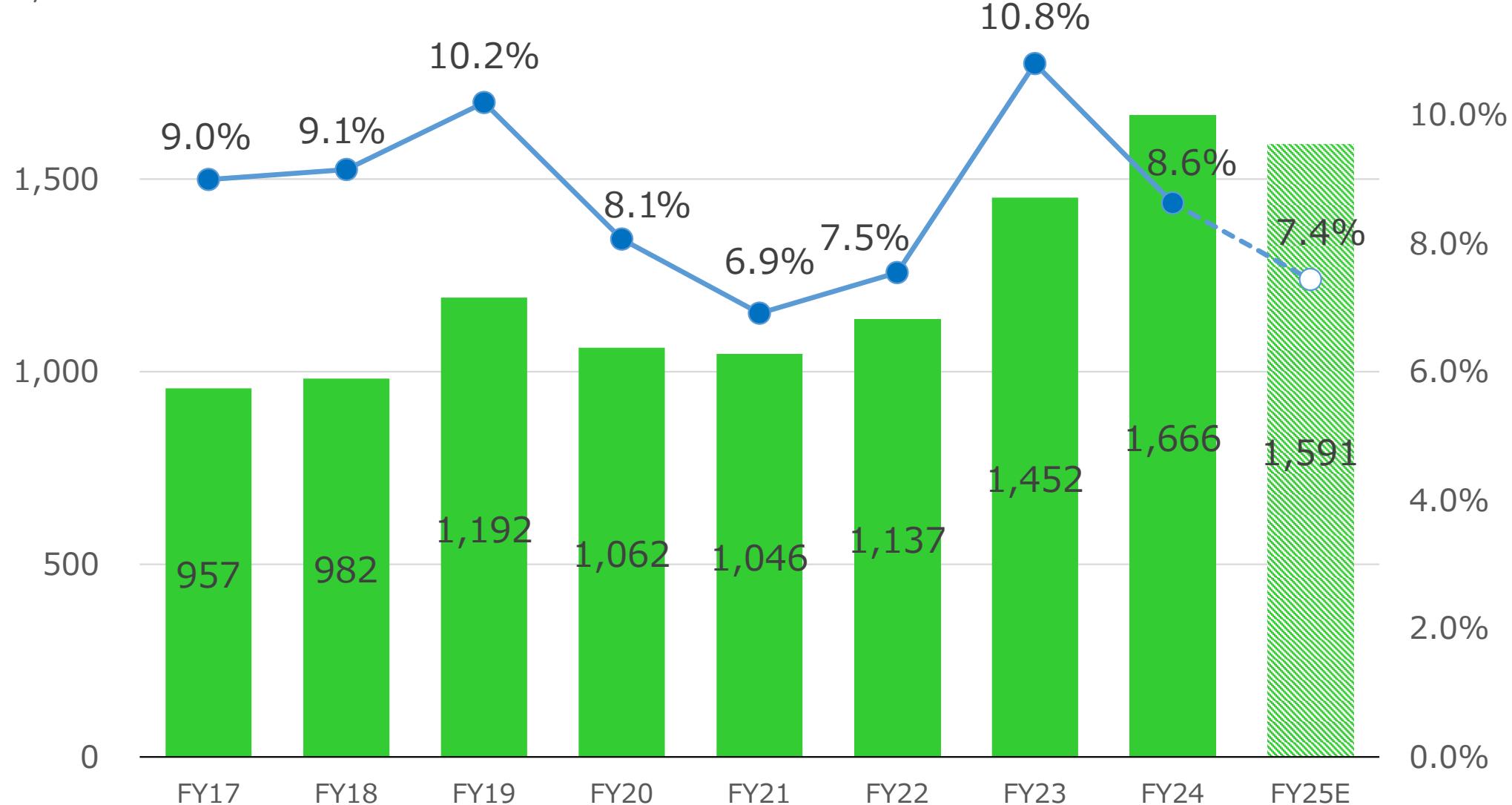


(単位：百万円)

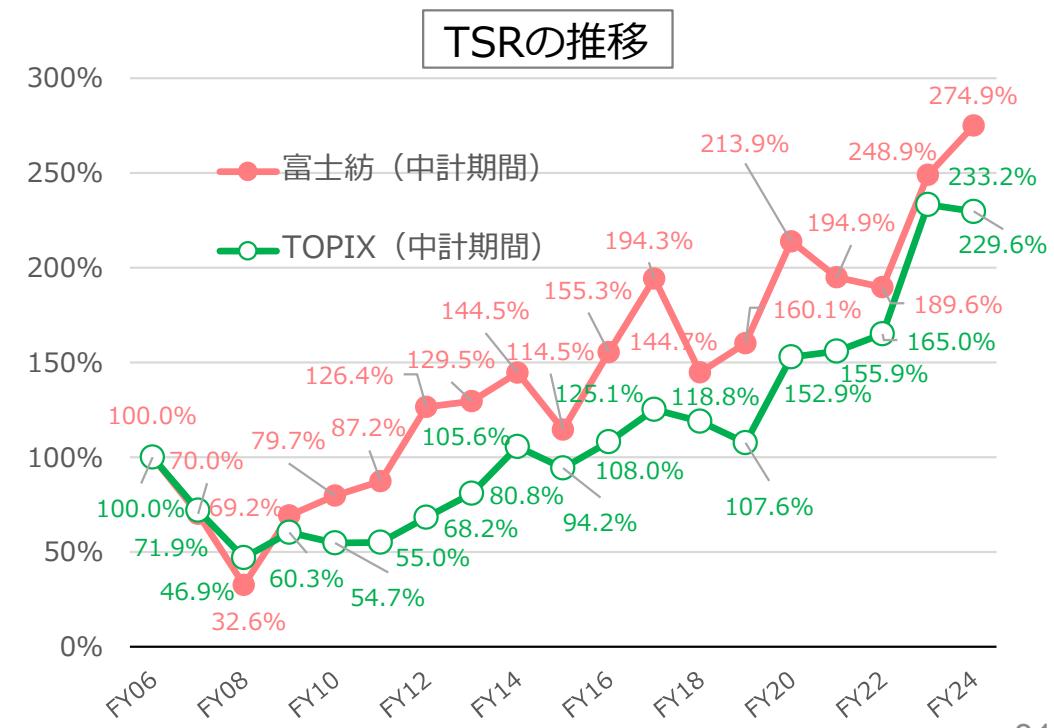
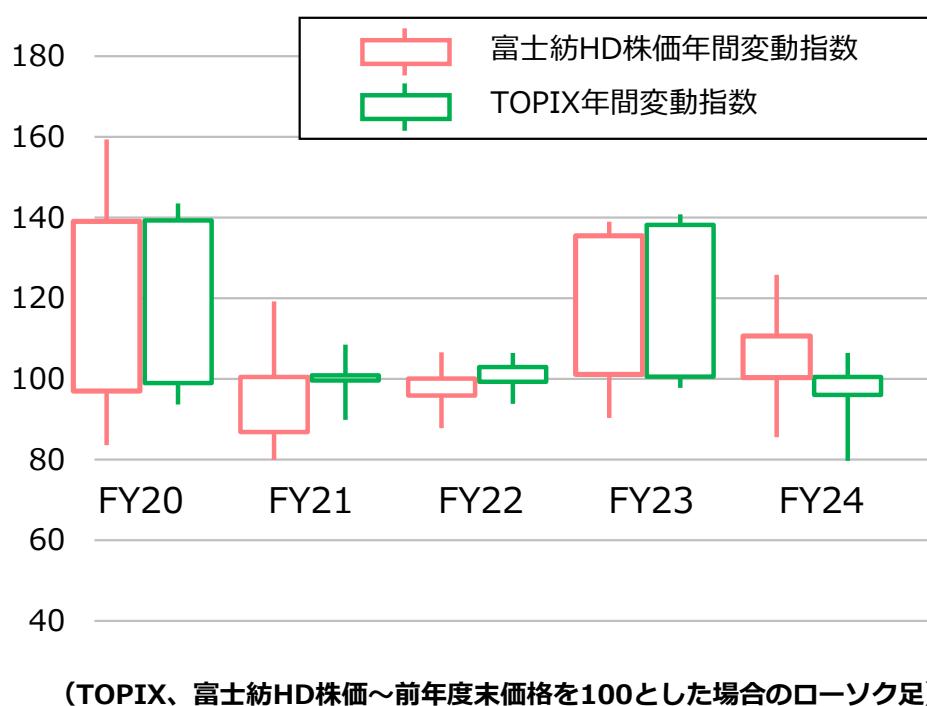
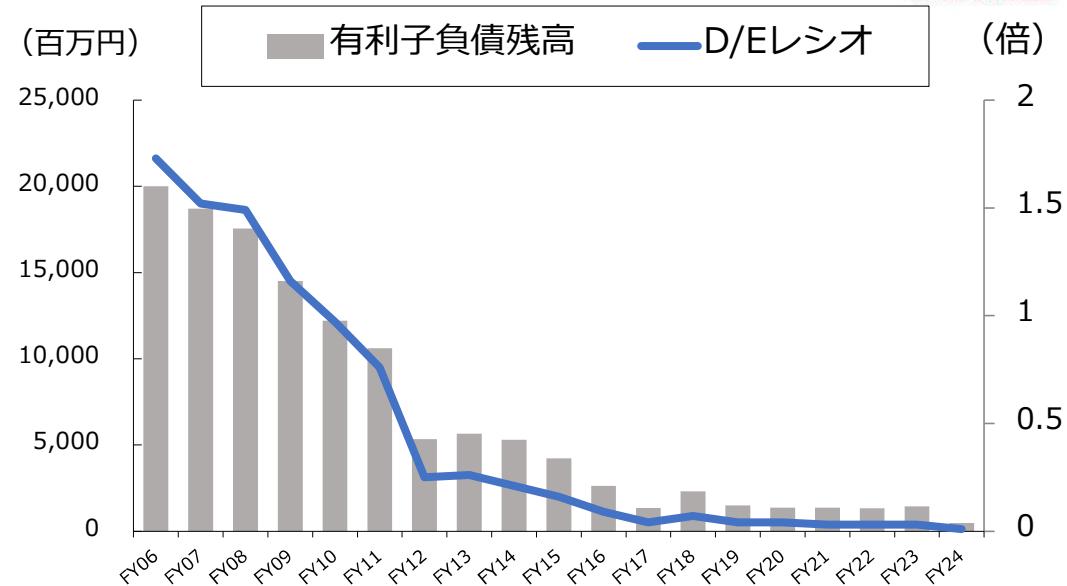
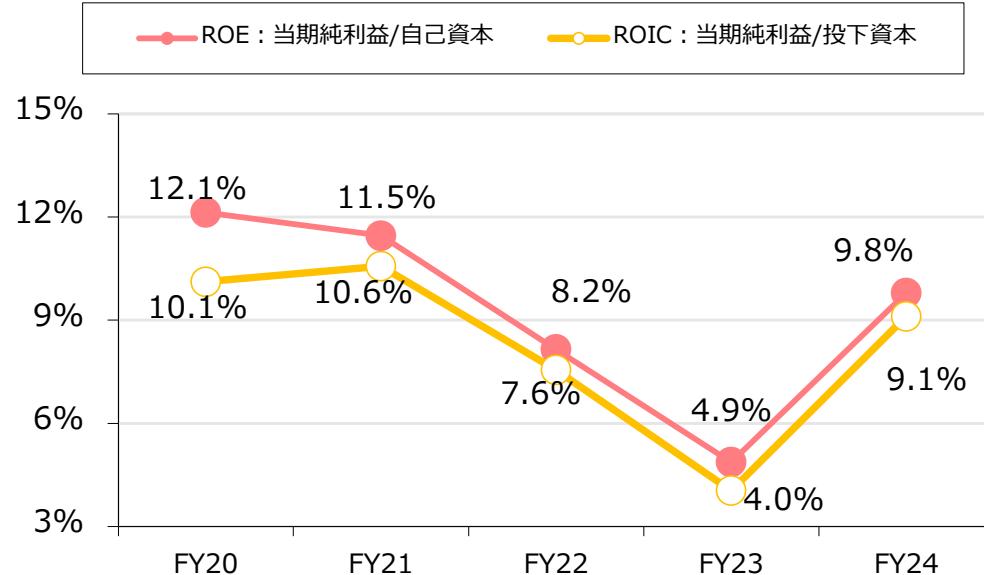
2,000

研磨材研究開発費

研磨材事業売上高研究開発費比率

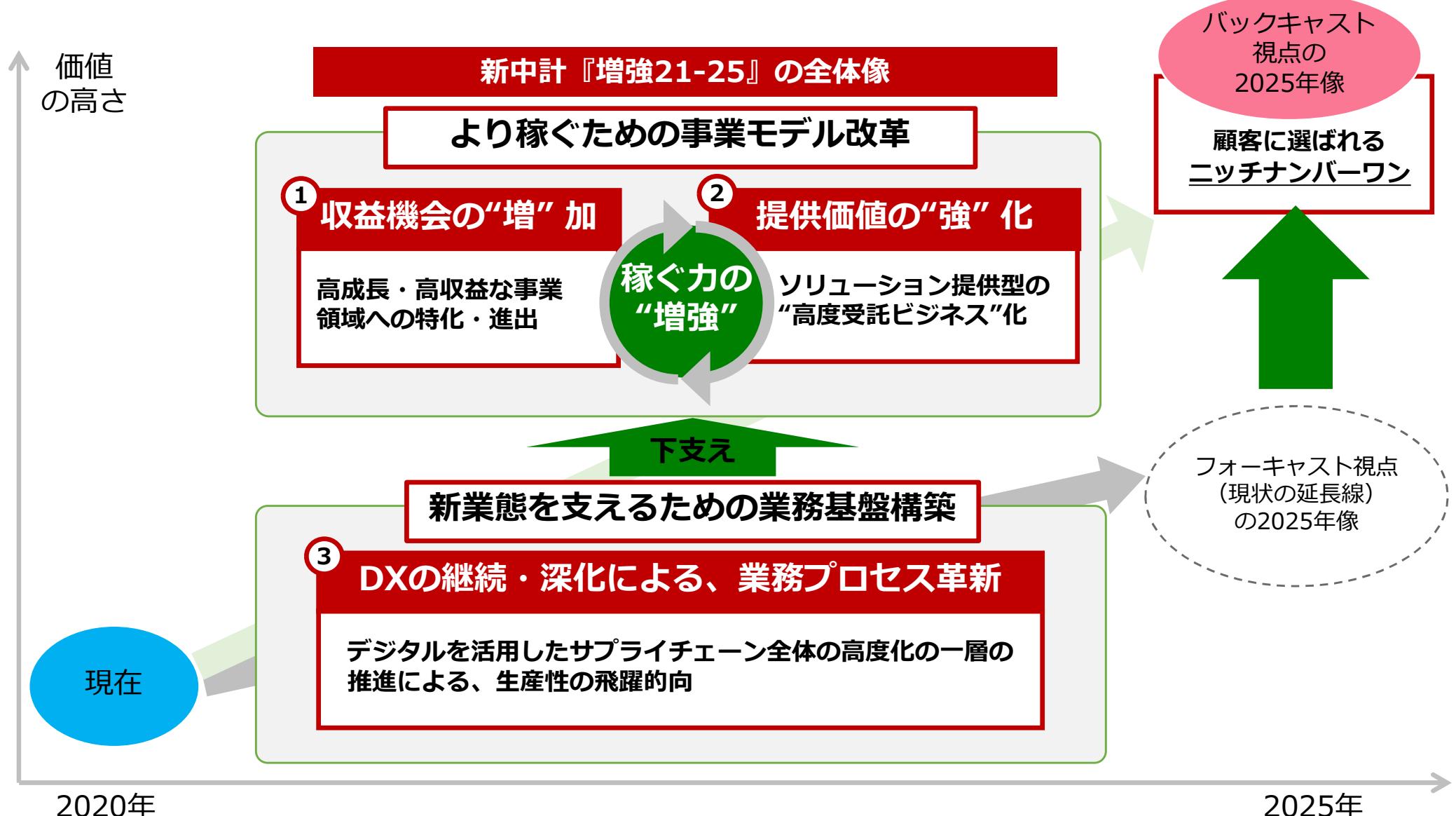


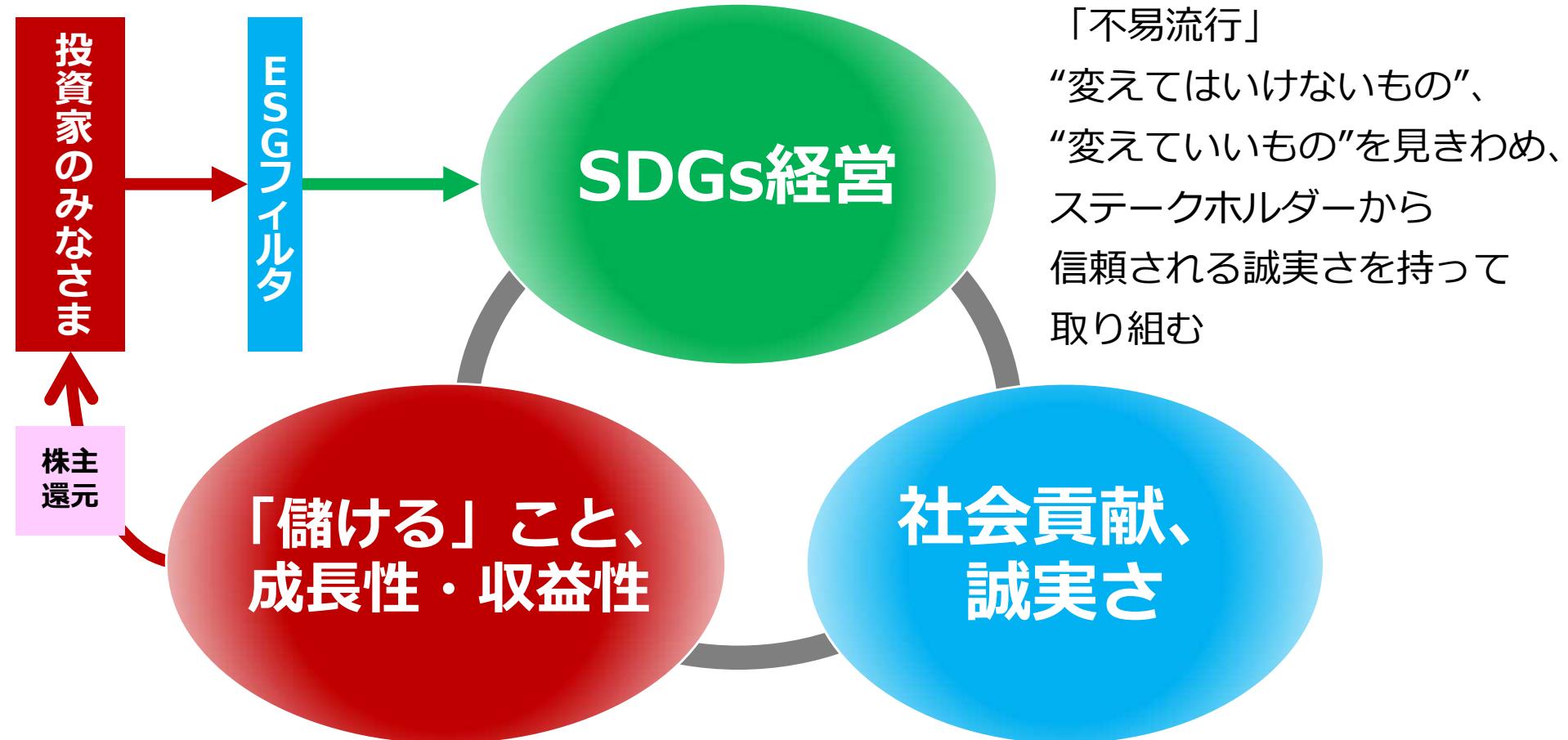
主な経営指標・株価指標



「増強21-25」の全体像

“圧倒的なニッチナンバーワン”を目指し、稼ぐ力の“増強”とDXの継続・深化に取組む





- 事業ポートフォリオマネジメント
- キャッシュフロー重視
- ROIC経営手法
(在庫削減、借入金返済・有利子負債減少)
- 持続的成長のための投資

- ふくのわプロジェクト参画
(衣料品のリサイクル・リユース、パラスポーツ支援)
- 水族館出資を通してイルカとの共存サポート
- 災害時衣料支援、コロナ対策医療機関従事者応援
- CO2削減、産業廃棄物削減

ROICをブレイクダウンし、個々の施策を達成することで全社のROIC向上を図る

